

平成21年度 事業報告



学校法人 加計学園

建学の理念

ひとりひとりの
若人が持つ能力を
最大限に引き出し
技術者として
社会人として
社会に貢献できる
人材を養成する

目次

理事長挨拶	1
法人全般	2
岡山理科大学	14
倉敷芸術科学大学	25
千葉科学大学	33
岡山理科大学附属高等学校	40
岡山理科大学附属中学校	46
岡山理科大学専門学校	51
玉野総合医療専門学校	56
倉敷食と器専門学校	61

理事長挨拶



学校法人 加計学園 理事長・総長 加計 晃太郎

戦後、創立者加計勉名誉理事長は、一面の焼け野原となった広島の中で「資源の乏しい我が国の復興には教育こそ肝要」との信念のもと教育の道を志し、昭和36年に加計学園を設立しました。以来、「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する」という建学の理念のもと時代や社会のニーズを先取りした特色ある教育研究事業を展開し、現在、3大学、1高等学校、1中学校、3専門学校を擁する中四国で有数の教育研究機関へと発展して参りました。

学園創立50周年を目前に控え、平成21年度は、これまでの50年を振り返り、創立の原点から、将来に繋げるための礎を築く元年とする為、「教学改革の推進」、「留学生受入れ体制の強化」、「縦横の連携促進」を方針として、各設置校において事業計画を策定し、その達成に努めました。

「教学改革の推進」については、平成22年度に向けて倉敷芸術科学大学や岡山理科大学附属高等学校において、アニメやマンガのコースを設置したり、千葉科学大学危機管理学部に航空・輸送安全学科を設置するなど、各設置校にて、時代のニーズを先取りした改組に取り組むとともに、FD活動を通して、高大連携や教育研究内容の改善に取り組みました。また、真庭市との包括協定をはじめ、各設置校において、地方自治体や企業等外部団体との連携にも力を入れました。

「留学生受入れ体制の強化」については、平成22年度に向けて岡山理科大学と千葉科学大学に新たに留学生別科を設置し、倉敷芸術科学大学においても留学生別科の収容定員増を行うなど、3大学において留学生の受け入れ体制の充実を図り、留学生確保のため、海外支局長を中心に積極的に広報活動を展開しました。

「縦横の連携促進」についてですが、10年後の18歳人口の減少に備え、8設置校間の連携を強化し、学園独自の教育システム創りに向け、組織の枠を越えて知恵を出し合うとともに、財務改善会議を開催し、学園の財務体質の改善や、広報戦略、将来計画等について話し合い、これまでの学園の伝統を踏まえた上で、21世紀にふさわしい経営戦略を検討して参りました。

さらに、50周年記念事業に本格的に着手し、「岡山理科大学正門」や「電光掲示板」を設置しました。他の事業についても、当初の計画通り進めています。

以上のように各設置校とも、建学の理念の下、学園を更なる発展に導くため、各事業の達成に注力しました。

平成21年度 事業報告

法人全般

学園事業

■留学生受け入れの推進

国の「留学生30万人計画」を受け、本学園でも留学生の受け入れを推進し、岡山理科大学、千葉科学大学において、新たに留学生別科を設置し、倉敷芸術科学大学においても既存の留学生別科の収容定員増を行いました。

■省エネルギー推進委員会

省エネルギー推進委員会を定期的に開催し、省エネルギーに対する教職員の意識を高めました。

1年に1%のエネルギー削減を目標に、省エネルギーに努め、21年度は、約7%も削減することができ、温室効果ガス(CO₂)排出の抑制にも繋がりました

■創立者の日

平成20年4月30日、加計学園創立者加計勉名誉理事長が逝去されたことを偲び、命日となる4月30日を「創立者の日」とし、学園の休日としました。



創立者 加計 勉

■創立者故加計勉名誉理事長一周忌 献花の集い

一周忌となる平成21年4月30日に「献花の集い」を岡山理科大学25号館理大ホールにて実施、約800名が参加し、創立者の遺徳を偲びました。

■真庭市と包括連携協定

まちづくりや、教育、文化、福祉、温泉の活用など、幅広い分野で連携することを目的に、10月30日、真庭市と包括連携協定を締結しました。

■加計学園教職員研修会

学園教職員を対象とした研修会を積極的に行いました。外部講師を招き、現状の把握や、経営戦略、人事評価等について研修し、教職員の資質と意識の向上に努めました。

■財務体質の強化

15歳、18歳人口の減少に伴い、従来の入学者数の確保が困難となっており、学生生徒納付金収入の増額が見込めない状況となってきましたが、これを打破するために理事長を中心に各設置校の事務部門、広報部門のトップを集め財務改善会議を、21年度は4回行いました。

この会議で現在の経営状況を把握し、それを見据えながらそれぞれの広報戦略を話し合い、方向性・意見の統一を図りました。

また一方で学生生徒納付金のみに頼らない財務体質を目指し、各種補助金や科学研究費補助金等への申請や企業との共同研究、受託研究、寄付金等の外部資金を積極的に獲得するように全学的に取り組みました。

■加計学園理事・監事・評議員概況

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	6	5	11
監事	2		2	2
評議員	23～32	25	6	31

(平成21年5月1日現在)

50周年記念事業

加計学園は平成23年度に創立50周年を迎えます。そこで「創立50周年記念事業委員会」では、以下の事業を計画し、来る50周年にむけ、順次実施しております。



■創立50周年記念館の建設

岡山理科大学エスカレーター横の傾斜地に、地上3階建て延べ1,750㎡の加計学園創立50周年記念館の建設を平成23年度竣工を目指し計画しています。

館内には、最近話題の「好適環境水」を利用した、海水魚と淡水魚がスイスイと一緒に泳ぐ水槽を展示し、学生・生徒の癒しの空間を提供します。また、各同窓会が利用できるスペースを設け、同窓会活動を応援してまいります。

■岡山理科大学正門の設置

平成21年11月13日、岡山理科大学正門が完成し、同日、オープニングセレモニーが行われました。重厚な西洋風のこの正門は、在学生在が誇りを持ち続けられる大学の象徴となる様にとの思いで建設されました。これから新たな岡山理科大学の顔となり、新入生を迎え入れ、日々在校生を見守り、そして卒業生を送り出す社会への「道」に繋がる思い出の門となるでしょう。



■創立者加計勉名誉理事長の銅像設置

岡山理科大学ロータリーの中心に、創立者加計勉名誉理事長の銅像を設置します。50周年を迎える平成23年度の完成を目指し、倉敷芸術科学大学の蛭田二郎名誉教授に制作を依頼しています。

■電光掲示板の設置

平成21年10月6日、岡山理科大学25号館渡り廊下の屋根に、電光掲示板を設置しました。パソコン制御によるフルカラー表示で、50周年の告知や、8設置校のイベントなども紹介します。



■加計勉基金の創設

50周年記念事業として、新たに50周年記念加計勉基金を創設します。これは教育助成などを行うことを目的とし、加計学園の8設置校を対象とした奨学制度とします。

特命事業関係

少子化による私学経営の厳しさが増す中で多様な財源確保方策の一助とし、且つ学園組織の簡素化等に資するため特命事業として、出資会社K2ライフラボによる事業を積極的に進めて参りました。また、出資会社は、広く収益事業を営むとともに学園への還元を目指して活動して参りました。

■主な事業

主な事業計画としては、次の各種事業を展開しました。

①技術・研究シーズの社会還元事業の展開

- ・好適環境水事業（海水魚淡水魚混泳化、魚体

- トリートメント商品、陸上養殖システム)
- ・水質浄化事業（水族館飼育水、湖沼水）
- ・eラーニング事業（MOMOTAROシステム）
- ・化粧品開発事業（潤身シリーズ）
- ・その他の特許権、著作権に係る市場化事業

②学園業務の簡素化、省力化のための支援事業の展開

- ・業務受託事業
- ・学外実習場の提供（アクア・洋菓子製造等実習）及び実習成果物受託販売（観賞魚等）
- ・消耗品調達代行システムの導入展開
- ・印刷・製本事業

③学生・教職員、地域住民等に対する学園サービス業務の代行又は提供事業

- ・参考書、学用品等の斡旋販売
- ・外貨宅配事業
- ・レンタル事業（袴・生活用品・各種物品）
- ・各種傷害保険等保険代理店事業への参入

④ヘルスピア倉敷等運営事業

- ・屋外レジャープール運営代行
- ・アイスアリーナ運営代行

■好適環境水の水槽設置

海水魚と淡水魚が共存可能な好適環境水の水槽を、岡山駅や岡山理科大学をはじめ、主に高等学校を中心に国内数カ所に設置しました。



岡山理科大学 第一学舎水槽

国際交流関係

本学園はグローバル化する国際社会において、諸外国との親密な連携が人材育成には不可欠であると考え、早くから国際性の肝要を教育理念の一つに掲げ、様々な取組を続けています。

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計 画	予定
中国	北京城市学院学生訪日研修団来学	2. 1 ～2. 10
米国	ライト大学仕事体験生 2 名	4月～8月
米国	ライト大学仕事体験生 2 名	9月～3月
米国	フィンドリー大学科目等履修生 1 名	9月 ～3月
韓国	湖西大学単位互換履修生 1 名	9月～ 22. 8月
台湾	致理技術学院科目等履修生 2 名	9月～3月
台湾	致理技術学院学生訪日研修団16名	H22. 5. 11 ～5. 20
中国	北京求实職業学校（高校）・北京民族文化芸術職業学校（高校）加計学園三大学見学ツアー	H22. 3. 2 ～3. 6

■その他

国名	平成 2 1 年度報告	予定
	海外支局長会議	4. 6, 7 11. 24, 25
マレーシア	ケランタン大学来学者 3 名	5. 19 ～5. 20
中国	①日本語学校・留学センターからの来学者計 4 名	6. 23 ～6. 26
	②済南さくら日本語学校来学者 1 名	11. 18
	③明正日本語学校来学者 2 名	12. 4～5
	④揚州さくら日本語来学者 1 名	12. 7
	⑤華和科技（有）来学者 4 名	1. 8

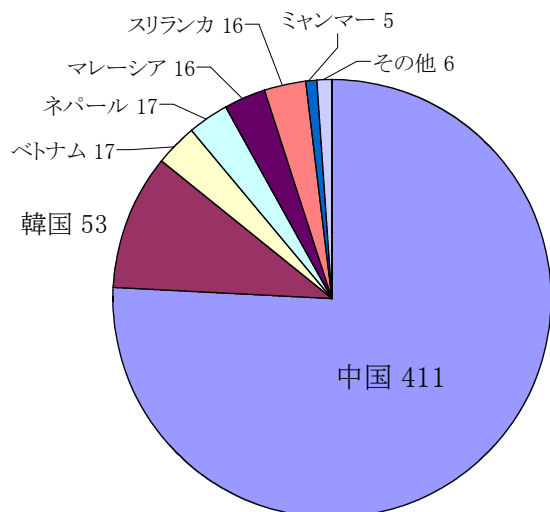
■海外協定校

(平成22年3月31日現在)

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、吉林国際語言文化学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市民族文化芸術職業学校、北京市求实職業学校、東北師範大学、東北師範大学人文学院 (留学生募集に関する提携校：内モンゴル智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、済南さくら日本語学校、成都瀨川日本語学校、西南交通大学外語学院)	18校
韓国	慶一学園、金剛学園(永同大学、亨硯高校)、鶴山学園(東ソウル大学)、金龍学園(徳園女子高校)(徳園芸術高校)、桂林学園(正明高校)、清錫学園(清州大学)、純心教育財団(純心高校)、湖西学園(湖西大学)、江原大学、金泉大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校	12校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	5校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バーリカウィッダヤーラヤ	3校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
タイ	パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	1校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニニョス校	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校

■国別留学生内訳

(平成21年5月1日現在)



総数：541 (単位：人)

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年 4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年 9月 **学校法人加計学園**認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年 4月 **岡山電機工業高等学校**開校（全日制） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年 1月 岡山理科大学設置認可
岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を**岡山理科大学附属高等学校**と改称
- 4月 **岡山理科大学**開学（理学部） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年 4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
岡山理科大学附属高等学校第3代校長として中尾寿夫就任
- 昭和50年 4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 5月 **岡山高等建築専門学院**開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に中尾寿夫就任
- 昭和51年 4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により**岡山高等建築専門学校**と改称
- 昭和53年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和54年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程に機械理学専攻、電子理学専攻を増設
- 昭和55年 4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年 4月 岡山理科大学工学部設置
岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
岡山高等建築専門学校を**岡山理科大学専門学校**と改称
- 平成 2年 4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 **倉敷芸術科学大学**開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設
- 12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成10年 4月 **玉野看護福祉総合専門学校**を開校 初代校長に金政泰弘就任
岡山理科大学附属高等学校第8代校長として、三木輝知就任
岡山理科大学専門学校第3代校長として、村上侑就任
- 平成11年 4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任
倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更

- 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成13年 1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
- 平成13年 4月 倉敷芸術科学大学留学生別科を設置
玉野看護福祉総合専門学校を、**玉野総合医療専門学校**に名称変更
岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
- 9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任
岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）を設置
- 11月 千葉科学大学設置認可
- 平成16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
- 4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
千葉科学大学開学 初代学長に平野敏右就任
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に岡本繁通就任
- 平成17年 4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任
岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任
岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任
岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任
- 平成19年 4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任
- 平成20年 4月 千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成21年 4月 岡山理科大学大学院工学研究科修士課程知能機械工学専攻設置
岡山理科大学大学院工学研究科修士課程福祉システム工学専攻募集停止
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）をIT科学科（通信教育課程）に名称変更
倉敷芸術科学大学留学生別科神戸留学生別科設置
千葉科学大学危機管理学部動物・環境システム学科、医療危機管理学科設置
千葉科学大学危機管理学部防災システム学科、環境安全システム学科募集停止
- 5月 千葉科学大学薬学部生命薬科学科設置届出
千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科設置届出
- 8月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部IT科学科（通信教育課程）募集停止
- 10月 千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）設置認可
- 12月 千葉科学大学大学院危機管理学研究科博士課程（後期）設置認可
- 平成22年 3月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部生命化学科、起業学科（通信教育課程）を廃止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））を廃止

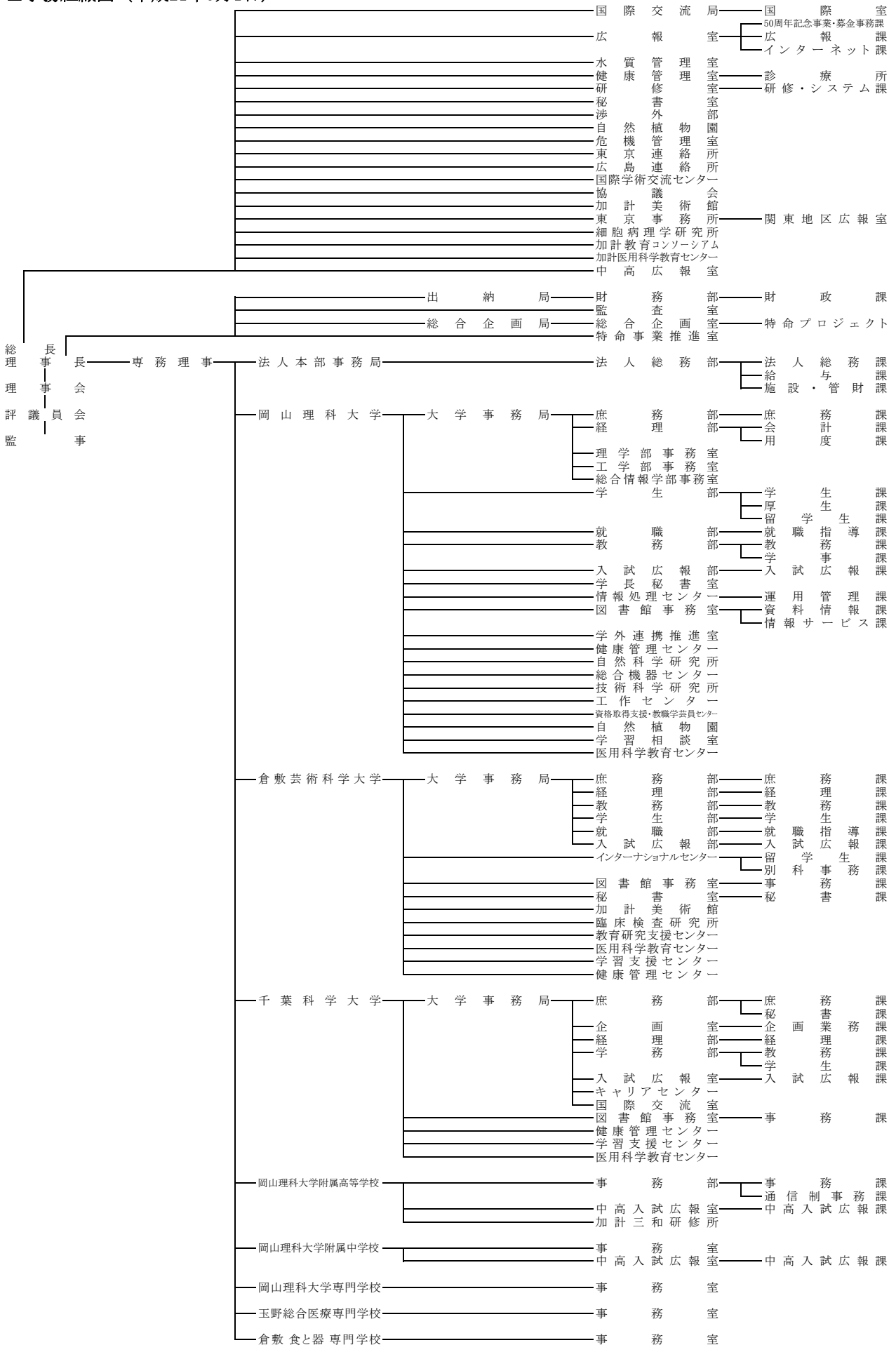
■設置校概況

(平成21年5月1日現在)

区 分	学生・生徒数		教職員数		
	定員	現員	教育職員	事務職員	計
岡山理科大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,364	5,037	281	194	475
大学院	384	343			
理学研究科	191	198		(本部) 79	
工学研究科	137	89		(大学) 115	
総合情報研究科	56	56			
学部	4,980	4,694			
理学部	2,010	2,132			
工学部	1,770	1,519			
総合情報学部	1,200	1,043			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	3,202	1,809	121	56	177
大学院	126	62			
芸術研究科	52	32			
産業科学技術研究科	44	18			
人間文化研究科	30	12			
学部	1,656	1,695			
芸術学部	440	430			
産業科学技術学部	385	351			
国際教養学部	0	1			
生命科学部	831	913			
大学院(通信制)	120	16			
芸術研究科	20	6			
産業科学技術研究科	40	1			
人間文化研究科	60	9			
学部(通信教育課程)	1,300	36			
産業科学技術学部	1,300	36			
国際教養学部	0	0			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	1,830	1,610	107	53	160
大学院	30	48			
薬科学研究科	20	32			
危機管理学研究科	10	16			
学部	1,800	1,562			
薬学部	885	780			
危機管理学部	915	782			
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1-1)	2,130	1,558	77	20	97
全日制課程	1,530	1,208			
通信制課程	600	350			
岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1-1)	240	158	17	3	20
岡山理科大学専門学校 (岡山市北区半田町8-3)	570	375	14	11	25
工業専門課程	180	89			
商業実務専門課程	0	0			
文化・教養専門課程	360	285			
文化・教養一般課程	30	1			
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	560	449	31	8	39
医療専門課程	480	413			
教育・社会福祉専門課程	80	36			
倉敷 食と器 専門学校 (倉敷市連島町西之浦2640)	200	86	9	5	14
衛生専門課程	160	80			
文化・教養専門課程	40	6			
合 計	14,096	11,082	657	350	1,007

※別科、専攻科等除く

■事務組織図（平成21年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

収入の部 (単位：円)	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	14,278,414,904
手数料収入	252,723,785
寄付金収入	127,736,609
補助金収入	2,525,635,789
資産運用収入	202,658,718
資産売却収入	400,000,000
事業収入	98,548,400
雑収入	487,912,288
借入金等収入	803,080,000
前受金収入	2,587,225,649
その他の収入	2,046,044,767
資金収入調整勘定	△ 2,833,634,875
前年度繰越支払資金	19,942,960,976
計	40,919,307,010

支出の部 (単位：円)	
科 目	金 額
人件費支出	11,535,867,228
教育研究経費支出	3,717,378,944
管理経費支出	1,157,101,912
借入金等利息支出	188,041,251
借入金等返済支出	962,955,400
施設関係支出	1,767,947,500
設備関係支出	719,297,364
資産運用支出	470,172,802
その他の支出	1,074,357,140
資金支出調整勘定	△ 1,074,348,269
次年度繰越支払資金	20,400,535,738
計	40,919,307,010

■消費収支計算書

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)	
科 目	金 額
学生生徒等納付金	14,278,414,904
手数料	252,723,785
寄付金	153,694,144
補助金	2,525,635,789
資産運用収入	202,658,718
事業収入	84,736,880
雑収入	487,912,288
帰属収入合計	17,985,776,508
基本金組入額合計	△ 248,277,067
消費収入の部合計	17,737,499,441

消費支出の部 (単位：円)	
科 目	金 額
人件費	11,535,867,228
教育研究経費	5,683,893,775
管理経費	1,657,174,174
借入金等利息	188,041,251
資産処分差額	34,700,925
徴収不能引当金繰入額	7,120,234
消費支出の部合計	19,106,797,587
当年度消費支出超過額	1,369,298,146
前年度繰越消費支出超過額	6,678,603,524
翌年度繰越消費支出超過額	8,047,901,670

■貸借対照表（平成22年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	62,365,115,548
有形固定資産	57,185,556,177
その他の固定資産	5,179,559,371
流動資産	21,979,097,109
資産の部合計	84,344,212,657

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	11,890,931,515
流動負債	4,645,782,405
負債の部合計	16,536,713,920

基本金の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金の部合計	75,855,400,407

消費収支差額の部 (単位：円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 8,047,901,670
消費収支差額の部合計	△ 8,047,901,670
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	84,344,212,657

■財産目録（平成22年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
一資産額	
(一) 基本財産	62,129,021,578
1. 土地	15,603,074,322
借地権	388,140,000
2. 建物	28,004,518,771
(1)校舎	22,337,503,291
(2)図書館	403,143,486
(3)体育館	2,555,871,523
(4)寄宿舍	398,934,390
(5)倉庫	24,430,451
(6)その他	2,284,635,630
3. 建設仮勘定	16,211,800
4. 構築物	2,098,304,422
5. 図書	6,469,778,406
6. 教具・校具・備品	4,985,047,176
7. 車両運搬具	8,621,280
8. 積立金	2,355,325,401
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	22,215,191,079
1. 預金、現金	20,400,535,738
2. 出資金	68,059,400
3. 有価証券	987,033,833
4. 未収金	444,726,425
5. 仮払金	22,045,599
6. 差入保証金	168,034,570
7. 前払金	122,279,362
8. 貯蔵品	2,476,152
合 計	84,344,212,657
二負債額	
1. 固定負債	11,890,931,515
(1)長期借入金	10,499,288,100
(2)学校債	8,500,000
(3)退職給与引当金	1,383,143,415
2. 流動負債	4,645,782,405
(1)短期借入金	526,858,400
(2)学校債	2,700,000
(3)未払金	1,010,364,334
(4)前受金	2,587,225,649
(5)預り金	480,479,201
(6)仮受金	38,154,821
合 計	16,536,713,920

■財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

区 分		18年度	19年度	20年度	21年度	
分類	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△5.9%	△6.4%	△7.9%	△9.5%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	86.0%	86.5%	87.0%	86.7%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	96.3%	93.6%	92.2%	92.0%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	81.3%	79.4%	78.5%	78.3%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	500.8%	568.0%	553.7%	473.1%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	721.2%	840.0%	837.6%	788.5%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	19.4%	18.8%	18.7%	19.6%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	16.5%	16.2%	15.9%	16.5%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	80.1%	80.2%	79.3%	77.5%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	58.9%	60.6%	62.6%	64.1%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{消 費 支 出}}$	30.5%	30.2%	29.8%	29.7%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	8.9%	8.6%	9.6%	9.2%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	100.3%	101.1%	105.6%	106.2%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	123.6%	122.6%	131.3%	133.8%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	81.2%	82.5%	80.5%	79.4%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.7%	0.8%	1.0%	0.9%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	13.6%	11.5%	12.7%	14.0%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	4.8%	0.6%	0.9%	1.4%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		合計
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	
岡山理科大学	1,036,457	53,040	122,536	9,802	457	1,222,292
倉敷芸術科学大学	422,658	21,000	31,164	17,603	173	492,598
千葉科学大学	313,539	5,250	11,000	12,081	134	342,004
岡山理科大学附属高等学校				11,043	375,895	386,938
岡山理科大学附属中学校				323	54,096	54,419
岡山理科大学専門学校					444	444
玉野総合医療専門学校					26,681	26,681
倉敷 食と器 専門学校					260	260
合計	1,772,654	79,290	164,700	50,852	458,140	2,525,636

- ①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）
- ②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）
- ③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	32 件	16 件	43 件	80,050 千円
理学部	15	7	17	23,690
工学部	12	6	16	31,140
総合情報学部	5	3	9	17,810
附属施設			1	7,410
倉敷芸術科学大学	7	4	4	6,240
芸術学部	4	1	2	2,470
産業科学技術学部		3	1	1,430
生命科学部	3		1	2,340
千葉科学大学	4		13	21,450
薬学部	3		9	16,900
危機管理学部	1		4	4,550
岡山理科大学専門学校	2			
合計	45	20	60	107,740

平成21年度 事業報告

岡山理科大学

理学、工学、情報科学のキーを駆使し、あらゆる学際領域を探索。地球を視野に高度なサイエンスを創造する。



平成21年度の主要課題は学部・学科、事務組織、教育体制などの改組・改革、高大連携、外部資金の獲得などであった。

学科改組に関してはコースの新設など小規模なものにとどまったが、比較的大規模な改革に向けての議論を進行させることができた。初年次教育などを目指した教育体制の改革については「教育開発支援機構」の設置を決定でき、来年度以降の抜本的なカリキュラム改訂が期待される。事務組織に関しても大学評価の中間報告作成の過程の中で議論が行われ、自己評価の体制づくりの基礎が構築できた。外部資金の獲得に関しては、対前年度で-8%となったが、前々年度と比較すると165%であり、高いレベルの成果をあげることができた。

岡山理科大学 学長 波田 善夫

教育の充実

■ J A B E E

工学部情報工学科では平成20年11月に J A B E E 実地審査を受け、12月に改善企画書を提出していましたが、4月24日認定の連絡がありました。

■ 早期卒業制度

現行の大学院への飛び級制度は学部を退学扱いとしているため、規程や基準を整備し、学部段階での早期卒業制度を、平成21年より応用物理学科を除く理学部で実施しました。平成22年度から理学部応用物理学科及び工学部で実施するように改正しました。

■ 大学評価に対する改善報告書

平成18年の大学基準協会による大学評価結果（相互評価ならびに認証評価）の留意事項（「助言」）に対する改善報告書を平成22年7月に提出するための作成資料を準備いたしました。

■ 学士課程教育の構築

中央教育審議会の答申に基づき、学士課程教育の構築に向けて下記のことを実施しました。

1. webシラバスの内容の充実
2. 厳格な成績評価の実施方法の提案
3. 授業参観の制度化

■FD活動の活発化

学生による授業評価、外部講師を招致しての研修等、教職員のFD活動（教育能力向上のための研修・活動等）を引き続き活発に行い、教育レベルの向上に努めました。

10月2日に愛媛大学より2名の講師を招き、FD・SD講演会を実施しました。3月17日には本学教員により、授業アンケートの統計的分析について講演を実施しました。

■ボランティア活動の単位認定

小中学校等における学習支援、災害援助支援、清掃奉仕、防犯活動支援等のボランティア活動を行った学生に対し、申請に基づき単位認定を実施しました。

■留学生の受け入れ

日本マレーシア高等教育大学連合プログラム（JAD）（3年次編入）による留学生を積極的に受け入れすることとし、平成21年度は6名受け入れました。

■岡山理科大学における3つの方針を記載する冊子の作成について

平成20年12月24日に中央教育審議会から「学士課程教育の構築に向けて」と題する答申が出され、その中に学位授与に関する方針（ディプロマポリシー＝DP）、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー＝CP）、入学者受入についての方針（アドミッションポリシー＝AP）を各大学で明確に定め、公表することが義務づけられました。現在本学ではDP・CPについてはそれらの内容が学則や学生便覧に教育目的や学習・教育目標として記述され一部公表されています。

そこで、現在各学部・学科及びセンターでは、平成21年度中に3つの方針の原稿を作成し冊子としてまとめることができるよう作業を行い平成22年度入学生へ配布しました。学外に向けては広報活動での使用を検討しています。

■教員免許更新講習

免許更新制の実施とともない、教員免許更新講習講座を開設しました。

受講受付 平成21年5月11日(9:00)

～7月10日(17:00)(Webによる受付)

開催期日 平成21年8月1日～5日

開設科目

必修科目「教育の最新事情に関する事項」

(定員100人 受講者66人)

選択科目「教師のための理科教育最新情報」

(定員40人 理科 受講者24人)

「教師のための数学」

(定員40人 数学 受講者33人)

「電気電子計測実験実践講座」

(定員24人 技術・工業・理科 受講者16人)

「ロボット技術の現状とこれからのロボットの役割」

(定員30人 技術・工業・理科 受講者20人)

「電子顕微鏡で観察できる高機能合金の原子の像」

(定員30人 技術・工業・理科 受講者17人)

■学習相談室の充実

数学教育センターから発展した学習相談室は本年度で2年目を迎えます。設置の意図は、「基礎的学習の習得を助け、さらに高度な学習へ導き、有意義で充実した大学生活を送れるように支援すること」です。これを実現するために、以下の項目を実践していきました。

1. 学生の自発的な質問を随時受けつけ、適切な個別指導を丁寧に行う。
2. 入門系の講義に深く関わり、受講生で必要と思われる学生を相談室に呼び、学習指導により基礎学力を向上させる。
3. 上記2項目のより良い実現のため、学習指導経験をもとに教材研究を行う。



文部科学省選定事業

■オープン・リサーチ・センター整備事業

「地球型惑星の物質科学と歴史探究」

自然科学研究所の板谷徹丸教授を研究代表者として、平成17年度から新規5年計画で開始し、平成21年度が最終年となり、計画どおり実施し報告書を作成しました。

■社会連携研究推進事業「地域社会とのコラボレーションによるQOL向上の一体的アプローチ」

工学研究科の金枝敏明教授を研究代表者として、平成18年度から新規5年計画で開始し、平成21年度で4年目を迎え、計画どおり実施しました。

■科学T r yアングル岡山

平成20年度「戦略的大学連携支援事業」で選定された取組で、岡山の主要3都市（岡山、倉敷、津山）に位置する自然科学系大学、高専（岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、岡山大学、津山工業高等専門学校）、研究所が連携し、それぞれの特徴と教育研究資源を集結して、科学による地域の活性化に挑戦する取組であり、連携校の本学に「連携教育推進センター岡山理科大サテライトオフィス」を設け、本年度は3年計画の2年目を迎え、計画どおり実施しました。



■理科大学発！科学ボランティアリーダー

平成20年度「質の高い大学教育プログラム」で選定され、本学学生において科学・工作教室の講師等として児童生徒の理工系離れ克服および市民の科学技術リテラシー向上に積極的に貢献する科学ボランティアリーダーを養成する取組であり、「科学ボランティアセンター」を設け、本年度3年計画の2年目を迎えます。さらに本年度には地域での体験活動を組入れた科学ボランティアリーダー養成カリキュラムおよび科学ボランティアリーダー認定制度を設置しました。

■おokayama医療機器開発プロフェッショナル

平成20年度「科学技術振興調整費」で選定された工学部生体医工学科を中心としたプログラムで、医療機器の製品化には一般的な基礎研究、製品開発、生産技術開発に加え、安全性試験、動物実験、臨床実験、製造承認申請業務などの医療機器特有の開発ステージが存在するため、それぞれの業務に精通した種々のスペシャリストが必要です。



そこで、医療機器開発に意欲のある地域中小企業の開発要員を対象に、医療機器製品化に必要な知識・技能を教授し、医療機器産業の創出・育成を産業政策の柱とする岡山県と協力して地域の新産業創出に不可欠な人材を5年間で45人の養成を目標として取り組みます。本年度は5年計画の2年目を迎え、研修修了生として10名の認定を致しました。

■グリーン元素科学

平成21年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に森重國光教授を代表者として申請していた「グリーン元素科学」が採択されました。計画書に基づき今年度の事業を実施しました。

■平成21年度申請 G P

1. 戦略的大学連携支援事業

大学コンソーシアム岡山の提案により、県内大学の連携による『「岡山オルガノン」の構築』で本学が主体となって申請を行い採択され、9月から事業が開始となりました。

その他、岡山大学を申請者とする「国公立大学と国際の連携を通じた医工学複合の国際的博士人材の育成」や、広島大学を申請者とする「中国地域におけるICTプロフェッショナル育成拠点の形成」にも連携校として本学は参加しましたが不採択となりました。

2. 大学教育・学生支援推進事業

テーマB：学生支援推進プログラムに就職部から申請を行い、採択され、計画書に沿って就職支援を行いました。

テーマA：大学教育推進プログラムに理学部・

工学部から各1件申請を行い、不採択でした。

3. 組織的な大学院教育改革推進プログラム
理学研究科より申請を行い、不採択でした。

● 結果、今年のG Pは7件（代表校として5件、連携校として2件）のうち、採択は2件となり、現在進行中の本学が代表校のG Pは3件、連携校として参加1件の合計4件となりました。

■ 科研費申請奨励費

工学部においては、若手教員の新規の科研費申請者に対し、学部共通費より研究奨励費を支出し、研究活動の活性化を目指しています。

学外連携

■ 外部資金の獲得

科研費等の公的研究費、共同研究や受託研究等の外部研究資金の獲得を推進しました。

■ OUSフォーラム2009（研究成果の社会への発表について）

OUSフォーラム2009を岡山で開催する他、東京、大阪で研究シーズの公開をしました。

1. 「OUSフォーラム2009の開催」
（11月20日；岡山（於）73件発表）
2. J S T 科学技術振興機構「新技術説明会」での発表
（7月24日；東京（於）発表。）
3. 「岡山リサーチパーク研究・展示発表会」
（平成22年2月5日；岡山（於）15件発表）

■ 特許セミナー

特許セミナーを今年度3回開催し、研究者の研究成果の知的財産化を推進しました。

- | | |
|-----|-----------|
| 実施日 | 1. 9月16日 |
| | 2. 10月24日 |
| | 3. 12月1日 |

■ 地域産業界との交流

地域産業界との交流を推進しました。

1. 岡山県主催の「100研究室訪問」に協力し研究室及び研究機器等を外部へ公開しました。
2. 岡山県（産学官連携推進会議）主催100社訪問、次世代交流会に参加しました。
3. ㈱日本政策金融公庫岡山支店中小企業事業主催のビジネス交流会が10月にあり、参加しました。
4. おかやま信用金庫、備前信用金庫主催（新規）のビジネス交流会が7月にあり、参加しました。
5. 岡山市（岡山工業会）のビジネス交流会が5月にあり、参加しました。
6. 岡山市商工会議所のビジネス交流会が6月にあり、参加しました。

■ 委託公開講座

岡山県からの委託公開講座（生涯学習大学：8日間延べ16講座）及び連携講座を、8月末から10月中旬まで開講し、修了者は18名でした。

■ 公的研究資金不正使用防止

公的研究資金の不正使用防止のため、研修会や物品検収を行いました。

■ 外部団体事務局運営

岡山県の16大学が参加する「大学コンソーシアム岡山」の事務局となり、運営しました。

■ 外部団体との協定

1. 相互の連携を強化し、地域の発展に貢献するため、トマト銀行と「連携に関する包括協定」を締結しました。（10月28日）
1. 共同研究・技術協力をより一層強化するため、ナカシマホールディングスと「連携・協力に関する協定」を締結しました。（11月2日）

21年度新設学科・コース

■工学プロジェクトコース

工学部で学科横断的な教育を行う工学プロジェクトコースが4月からスタートしました。

プロジェクトによるものづくりと、学科の枠を超えた工学科目の履修により、幅広い工学知識と視野を持ったプロジェクトリーダー志向の実践的技術者の育成を目指します。

■コスメティックサイエンスコース

工学部バイオ・応用化学科に化粧品開発分野の人材養成を行うため、コスメティックサイエンスコースを開設しました。化学を基本とした化粧品原料・素材、製剤技術などを学び、さらに化粧品の標的である皮膚や毛髪の生理機能などのバイオテクノロジーも勉強します。

■大学院工学研究科知能機械工学専攻

工学研究科に、工学部知能機械工学科を基礎とする知能機械工学専攻を開設しました。

急速に高齢化が進む我が国の社会的ニーズに応えるために、機械系工学技術の基礎を身につけ、ユニバーサルデザインの設計理念のもとに、知能機械システムや人間親和型ロボット、生活支援機器、福祉支援機器などの人間を中心に据えた機器・システムを創造し設計するために必要な知識と、物事を柔軟に判断し得る能力を備えた知能機械工学の高度な技術者・研究者の人材養成を目指します。

申請・届出関係

■工学部知能機械工学科 コース制導入

知能機械工学科にコース制を導入し、「ロボットシステムコース」と「アミューズメント工学コース」の2コースの設置の準備を行いました。

「ロボットシステムコース」は日常生活の中で働くことのできる人に優しいロボットや機械システムを創造するために、メカトロニクス・ロボティクスというハードウェア、知能情報工学を中心とするソフトウェア、ユニバーサルデザインに基づく人間中心設計を学び、人間親和型ロボットを設計・創造できる技術者を養成します。

「アミューズメント工学コース」は、近年盛んになってきた体感型ゲームでキーとなる、コントローラなど機械を操作する部分のヒューマンインターフェースを中心に、アミューズメント分野での機械系技術者を養成するためのコースです。メカトロニクス・ロボティクスというハードウェア、知能情報工学を中心とするソフトウェア、ユニバーサルデザインに基づく人間中心設計を学び、それに加えて、ヒューマンインターフェース、バーチャルリアリティを学び、将来の体感型ゲームばかりでなく、生活の質向上に役立つ体感プログラムなどに用いられる新規ヒューマンインターフェースを設計・創造できる技術者を養成します。

平成22年3月に学則変更届を提出しました。

■工学部機械システム工学科に新コースを設置

自動車系製造業の機械エンジニア育成を目指す「機械（ME）コース」に加えて、航空機系製造業の機械エンジニアを育成する「航空・宇宙コース」を新設し、両コースを網羅・横断的に学習する「機械システム（MS）コース」（JABEE適合コース）と合わせて3コースとしました。

平成22年3月に学則変更届を提出しました。

■理学部基礎理学科 コース制導入

基礎理学科の利点を残しながら、その特徴がより目に見えるように2つのコースを設置しました。

「総合理学コース」では基礎科学を軸に、数学・情報・物理・化学・生物・地学・現代教育の各分野を学びます。

「理数系教員コース」では、附属中学・高校と協力し、生徒との触れ合いを重視した体験型学習を積極的に取り入れ、理数系分野での実践的な能力を身につけた教員の育成を目指します。

平成22年3月に学則変更届を提出しました。

■教職免許課程認定申請

「教職実践演習」の導入に伴う教職免許課程認定申請を7月21日に申請しました。

■留学生別科

「留学生別科」の開設に向けて準備を行い、学則変更届を7月29日に提出しました。

学生生活支援

■岡山理科大学東門バス停留所

現在あるバス路線（岡電バス）の他に、新しいバス路線（岡電バス）が誕生9月1日より運行を始めました。新路線は大学の東門横に新しく完成したバス停留所（岡山理科大学東門）を発着場とし、岡山理科大学専門学校の学生も利用できるようになっています。本学の学生や教職員にとっても、より便利になりました。

■岡山理科大学トラベルセンター（旅行代理店）

トラベルセンターが4月1日より開店しました。学生や教職員が、大学に居ながら国内外の旅行、帰省、出張に際して、JRの切符や航空機のチケット等の予約と手配ができるようになり、利便性が向上しました。

就職活動支援

■就職進路ガイダンス、就職支援マガジンの発行

3年次生の5月末より第1回を行い2月までに計6回実施しました。



低学年から就職意識の向上を目的として、低学年対象の進路・就職ガイダンスを数回実施しました。

進路や就職に対する、意識の充実・向上のため、就職支援マガジン「ME (MAGAZINE FOR EMPLOYMENT)」シリーズの内容充実を図り、各年次において作成し、ガイダンスで学生に配布し指導、解説を行うことにより、入学時から一貫した指導が可能となりました。

■就職筆記試験対策講座・公務員試験対策講座

3年次生とM1次生対象の就職筆記試験対策講座や、2、3年次生を対象に公務員試験対策講座を実施しました。

■合同企業説明会

学生が企業の説明を聞く、学内合同企業説明会を2月に開催しました。また企業人事担当者と教職員との情報交換会である就職懇談会を岡山・東京・福岡・大阪・広島会場で開催しました。

■就職求人情報の告知

求人情報を広く収集し、平成21年度卒業生への求人は例年より減少しましたが2896件ありました。求人情報は例年すべてデータ入力を行い、学生が希望の条件で検索できるようにしています。また、

地域ごとに求人票およびパンフレットを保存し、学生が自由に閲覧できるように整備しています。

学生には就職部のホームページや大学のメーリングリストから求人情報やガイダンス等の情報を配信しました。

学生の企業研究に役立たせるため、約10万件の企業情報を毎年更新して、提供しています。

■就職・進路懇談会

4年次生、3年次生とその保護者を対象に「就職・進路懇談会」を実施しました。各ゼミ担当教員と学生本人、保護者の3者で、就職環境の現状を伝えるとともに、就職を含む進路、成績などの相談を行いました。（4月18日実施 3年生 231名、4年生 137名参加）

■「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム

就職部の取組「地方理工系大学における迅速で組織的な就職支援システムの構築」が文部科学省平成21年度「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択されました。順次、計画に基づき実施しました。

■就職状況

平成21年度の就職内定率は、全体で87%（昨年93%）となりました。学部別では、理学部85%、工学部95%、総合情報学部80%に、大学院全体では88%となりました。

地域別就職先では、関東17%、東海2%、近畿23%、岡山31%となりました。

平成22年度入試

本学の入学者受入方針は、本学での学習を強く希望する受験生と、高い学力を持った受験生の確保の2つです。

1. 専願制入試

本学での学習を強く希望する受験生の為、AO入試・専願制入試では、学科の特徴がより明確に伝わるような課題や出題科目になるように改善しました。

2. 一般入試

一般入試では、4科目型から1科目型の入学試験を実施し、幅広い科目を得意とする受験生から、学科の特徴にあった科目が得意な受験生まで、受験生の能力が活かせる入学試験を設けました。

広報に関すること

■幅広い広報

本学が目指す教育目標、社会貢献等の取り組みについて、対象を受験生・保護者・教育関係者のみならず、世間一般に拡大し、幅広い広報を展開しました。

■広報経路の確保

受験生、高校教員に対して、必要とされる情報をタイムリーに提供できるよう、多岐にわたる広報経路の確保を目指しました。特に本学に対して関係が密接な関連校・教育提携校・指定校、また本学同窓生への関係強化を図りました。

■段階に応じた情報提供

高校生が本学に対し関心を持ってもらう段階、資料請求者が受験を考える段階、合格者が入学を考える段階で、それぞれの段階に応じた本学情報をタイムリーに提供しました。このことによって、入学者の本学教育目標とのミスマッチングを防ぎ、実りある大学生活の一助を担いました。

人事・組織

平成21年4月より、加計役氏が管理・運営担当副学長として新たに就任しました。

また、本年度末には学部長等任期満了にともなう改選を2月18日に行いました。

主な行事

4月 3日	入学宣誓式
4月 4日 ～9日	新入生・在学生オリエンテーション
4月18日	就職進路懇談会
5月 9日 ～10日	皐月祭
6月21日	オープンキャンパス
7月23日 ～8月4日	定期試験
8月 1日 ～2日	オープンキャンパス
9月12日	教育進路懇談会（本学）
9月24日	オリエンテーション
9月27日	専門・総合校入試Ⅰ期
11月 1日	特別推薦入試 専門・総合校入試Ⅱ期
11月14日 ～15日	推薦入試
11月20日 ～24日	大学祭
11月22日	オープンキャンパス
12月13日	3大学合同入試
1月16日 ～17日	センター試験
1月27日 ～2月9日	定期試験
1月30日 ～2月1日	S A入試
2月19日	S B入試
3月20日	学位記授与式
3月22日	後期入試

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数		秋期入学 ※	
			留学生	社会人		留学生	社会人		
大学院	理学研究科(博士)	13	3	1	39	11	2	1	
	理学研究科(修士)	76	101	1	152	187	1		
	工学研究科(博士)	5	1		15	7	4		
	工学研究科(修士)	61	40	1	122	82	6		
	総合情報研究科(博士)	2	5		6	11	1	3	
	総合情報研究科(修士)	25	12	2	50	45	2	1	
大学院 計		182	162	5	384	343	16	5	0
理学部	応用数学科	85	111		340	433			
	化学科	75	61		300	259			
	応用物理学科	70	63		290	235	1		
	基礎理学科	75	80		310	297			
	生物化学科	85	114		350	427			
	臨床生命科学科	85	95		340	374			
	動物学科	40	45		80	107			
	計	515	569	0	2,010	2,132	1	0	
工学部	バイオ・応用化学科	75	101		320	308			
	機械システム工学科	85	82	5	345	318	12		
	電気電子システム学科	70	66	3	300	233	3		
	情報工学科	85	71	1	365	384	1		
	福祉システム工学科 (募集停止)	—	—	—	—	1		—	
	知能機械工学科	60	43	11	260	151	24		
	生体医工学科	60	34	6	180	124	19		
計	435	397	26	1,770	1,519	59	0		
総合情報学部	情報科学科	80	67	2	330	280	2	1	
	コンピュータコミュニケーション学科 (募集停止)	—	—	—	40	21		—	
	生物地球システム学科	70	63		300	268			
	社会情報学科	70	86	7	280	319	26		
	建築学科	80	41	3	250	155	4	1	
計	300	257	12	1,200	1,043	32	2	0	
学部 計		1,250	1,223	38	4,980	4,694	92	2	0
総合計		1,432	1,385	43	5,364	5,037	108	7	0
理学部理学専攻科		30	0	0	30	0	0	0	
教職特別課程		50	8	0	50	8	0	0	

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成21年5月2日～平成22年3月31日)に入学した者です

(単位:人)

■卒業者数等一覧

(平成21年度)

区分		修了者・ 卒業者	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
大学院	博士	6	2	2	2	100%	0
	修士	152		137	120	88%	10
学部		1,037		651	568	87%	191
教職特別課程		8		8	6	75%	0

(単位:人)

主な就職先	(理学部) 西日本旅客鉄道、郵便事業、東芝メディカルシステムズ、東和薬品、中学校教員 他 (工学部) JFEスチール、井関農機、関電プラント、富士発條、日本特殊炉材 他 (総合情報学部) 三井住友銀行、総合警備保障、富士通エフサス、山陽マルナカ、ハローズ 他 (大学院) 日本ペーリンガーインゲルハイム、沢井薬品、三菱電機エンジニアリング、日本測器 他
-------	---

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

理事長・総長	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計
1	1	3(※)	173	66	33	3	2	281

(※)事務職員1名(総合企画局長)含む

事務職員	うち大学職員	うち本部職員
	194	115

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度 21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	7,274,912	7,350,813
補助金収入	1,222,292	1,026,461
その他収入	515,197	511,541
帰属収入合計	9,012,401	8,888,815
基本金組入額合計	△ 16,062	△ 83,962
消費収入の部合計	8,996,339	8,804,853
人件費	5,173,147	5,204,374
教育研究経費	2,725,035	2,808,908
管理経費	523,963	597,845
その他支出	145,845	159,109
消費支出の部合計	8,567,990	8,770,236

■施設設備整備状況(抜粋)

施設関係

(単位:千円)

事業名	金額
第28号館建設費	266,000
第11号館エアコン整備工事	172,200
第9号館3階大会議室天井改修工事	3,700
エスカレーター～10学舎遊歩道 整備工事	3,760
第一学舎3階化学実験室改修工事 (修繕費)	3,650

装置・設備関係

(グリーン元素科学事業による大型機器)

事業名	金額
核磁気共鳴装置	48,300
高速液体クロマトグラフ分取システム	10,500
薄層クロマトグラフィー質量分析器	19,500
マルチ検出モードマイクロプレート リーダー	13,335

その他の主な機器

事業名	金額
デジタルマイクロスコープ	11,235
ガスクロマトグラフ質量分析計	9,579
トリチウム水電解濃縮装置	4,536
発光・蛍光検出解析システム	3,255

届出・申請関係

事業名	金額
理学部動物学科機械・器具(創設費)	76,800
理学部動物学科 学術雑誌(創設費)	3,000
工学部生体医工学科 学術雑誌 (創設費)	870
総合情報学部建築学科 学術雑誌 (創設費)	805
グリーン元素科学共同研究	52,190
オープン・リサーチ・センター 共同研究	20,326
社会連携研究推進事業共同研究	62,700

平成21年度 事業報告

倉敷芸術科学大学

芸術と科学を融合し、芸術科学（インタラクティブ）の特徴を生かした、21世紀に必要な、考える知識基盤社会の構築に役立つ人材の育成を目指します。

地域になくてはならない大学です。



1. 建学の精神を守り、大学・学部・学科の目的を学則において明確にしました。

2. 20世紀までの知識は「ものづくり」に終始しました。21世紀はそのしわ寄せで、地球規模の環境、エネルギー、資源等問題が起こってきました。それらを解決する為、人文、社会、自然科学及び「おかやま倉敷学」の知識を複合、総合的に身につけた学士（学術）課程教育に力を入れました。

3. IT革命時代に適応し、ITフロンティアスピリットをいろいろな業務処理に活かせる人材を育成を目指し、パブリックマネジメント（公務員等）、ビジネスマネジメント（企業等）を含めた新たな学科への取り組みを行いました。

4. 3学部の融合を図り、芸術インタラクティブアートの特徴を生かした「判断力」の優れた人材の育成を継続して行っています。

倉敷芸術科学大学 学長 添田 喬

教学の充実

■キャリア教育

平成18年度から3年間、現代GPで培ったスキルを基に、「まちなかきゃんぱす」でのデジタル写真整理術など、高齢者や子供に慕われることで、自らの役割を見つけ、自立・挑戦していける職務体験プロジェクトを継続、発展させ、地域に根ざしたキャリア教育を行いました。また、次年度も継続して実践していきます。

■産学連携教育

木材など豊富で再生可能なセルロースを原材料として、溶解成形が可能な耐熱性、耐久性を持つ食品容器、自動車内装材に利用できるバイオマスプラスチックなど企業と連携し、研究開発を行いました。倉敷商工会議所や倉敷青年会議所との包括協定では、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成を進めました。さらに、今年度内閣府補助金として採択された「地方の元気再生事業産学官民コラボプロジェクト」は、終了しましたが、補助事業で行ってきた倉敷市中心市街地と周辺地域の相互活性化のため、くらしき担い手育成まちづくり支援塾の開催、インターンシップによる地場産業を支える人材の育成を継続して行っています。また、デザイン分野では企

業や行政機関から依頼される製品デザインの製作により、学生の意欲向上となる生きた課題授業を行いました。

■高大連携教育

文部科学省SSH（スーパーサイエンスハイスクール）採択校の玉島高等学校とはIT科学や生命科学分野、総社南高等学校とはキャリア教育や美術工芸分野、岡山理科大学附属高等学校とは美術工芸、デザイン、アニメーション、IT科学分野での連携を引き続き行ない、大学、高校間の境目のない接続教育と本学の教育理念「芸術と科学の協調」の実現に向け進めていきました。

■初年次教育

学習支援センターを中心に入学前の新入生に対し、課題をまとめた冊子や「学習支援センターだより」を作成、送付し、新入生が大学生活に期待や安心感を持ち入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。また、1年次前期に基本英語、基本数学、基本化学、基本物理の4科目8単位を、後期には全学年対象の公務員試験（数学）対策講座を加えることにより、初年次教育を充実させました。

■留学生支援教育

日本語教育充実のため、留学生対象の日本語必修科目を4科目8単位追加するとともに、留学生の多い学科では日本語関係科目を選択から必修に変更し、留学生支援教育を充実させました。また、入学前の海外からの留学生に対し、eラーニングによる日本語教材を用いた日本語能力を高める支援を行いました。

教育改革支援事業

■科学Tryアングル岡山

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の採択を受け、岡山、倉敷、津山の3都市にある岡山大学、岡山理科大学、津山工業高等専門学校と本学が、それぞれの科学教育研究資源を結集させた5つのプロジェクトの実行により、児童生徒、大学生、留学生、学校教員、社会人など、あらゆる人々を巻き込み、多角的に科学を見つめ、究め、育み、楽しめる人材及び地域の土壌を培い、本学では先進的な科学教育システムの共同開発を主に担当しました。

■岡山オルガノン

文部科学省「大学改革推進事業」の採択を受け、岡山県内15大学が連携し、(1)教養教育の充実・共同FD・SD活動による「学士力」育成、(2)実践的キャリア指導・社会活動への参画による「社会人基礎力」育成、(3)地域連携による人材育成・地域貢献活動による「地域発進力」育成の3つの力の育成により岡山県から発信される地域創生型の人材育成を進めました。次年度も継続して実践していきます。

■エネルギー環境教育

経済産業省資源エネルギー庁の「エネルギー地域拠点大学」として、教育プログラム、教材を開発し、人材を育成していくと同時に、山陽地域の児童、生徒などにエネルギー環境教育の普及に努力しました。

21年度新設学科・コース

■神戸留学生別科

神戸市東灘区御影町に1年コース60名、1年半コース40名の定員で、神戸留学生別科を開設しました。アジア系外国人を中心に受け入れ、大学の授業をスムーズに受講できるよう、十分な日本語教育を行い、本学だけでなく、関連大学への進学を促しました。

■金融トレーディングコース（起業経営学科）

今や企業だけでなく、生活においても身近な関係になってきた金融の知識を講義で学ぶと同時に仕事体験の実習を行い、将来、銀行や証券会社での活用はもちろん、あらゆる分野での基礎となる素養を養うコースを設置しました。

■アナウンサー・ガイドコース（観光学科）

観光の仕事の基本である「話す」「聞く」技術を学ぶことで、相手の伝えたい情報を上手に聞き出し、相手が知りたい情報を魅力的に伝える方法を修得させ、これにより、ガイドやアナウンサーを目指すだけでなく、社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につけた人材を育成するコースを設置しました。

■救急救命士コース（健康科学科）

第一線の現場で発生する様々なケースに対応した人命救助で活躍する救急救命士をより多く養成するため、救急救命実習室を整備し、従来からのカリキュラムを体系化して新たなコースとして設置しました。

申請・届出関係

■学科改組

芸術学部は、平成22年度にマンガ・アニメーションコースを新設し、演出や演技を踏まえた表現を提案できる漫画家、アニメーターやアニメーション作家の育成を目指します。そのため、新たな科目を追加した学則に変更しました。

産業科学技術学部は、現在あるIT科学科と起業経営学科の統合による学科再編を行うため、その前段階として、平成22年度に企業経営コースと情報コースを設置します。そのため、科目を見直した学則に変更しました。

生命科学部は、健康科学科において、平成22年度に健康ケアに関する科目を追加した学則に変更しました。

■通信教育課程募集停止

産業科学技術学部IT科学科（通信教育課程）について募集停止しました。大学院（通信制）については、引き続き募集を行います。

■学部学科の廃止

募集停止していた国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））について、年次進行により在学生在がいなくなりましたので、学部を廃止しました。

また、同じく募集停止していた産業科学技術学部生命化学科、起業学科（通信教育課程）について、年次進行により在学生在がいなくなりましたので、学科を廃止しました。

課外活動

■バスケットボール部

(男子)

- (1) 全日本大学バスケットボール選手権大会
中国地区予選優勝 (H21. 10. 14~18)
- (2) 全日本大学バスケットボール選手権大会
出場 1回戦敗退 (H21. 12. 1~8)
- (3) 全日本大学選抜大会へ4名選抜
(H21. 7. 9~14)

(女子)

- (1) 日本女子学生選抜バスケットボール大会
2名選抜 (H21. 7. 9~14)

■柔道部

- (1) 中国四国学生柔道体重別選手権大会
男子66kg級 第4位 (H21. 8. 28~30)
- (2) 全日本学生柔道体重別選手権大会出場
男子66kg級 1回戦敗退 (H21. 10. 10~12)

就職活動支援

■就職ガイダンス・就職対策講座

就職ガイダンスを3年次から年15回、就職対策講座を2日間、公務員採用試験対策講座を5回、4年次生による企業内定者報告会を2回、企業担当者による業界説明会4回、OB・OG報告会を開催しました。8月からはこれらのガイダンスにリクルートスーツでの出席を指示し、早くから学生の意識向上を促しました。

■職業適性・就職実践模試

2、3年次生対象に職業適性自己理解テストを1日5回3日間、SPI適性模擬検査を2回実施し自己分析を促しました。また、就職実践模試(START)エントリーシート攻略テスト6日間、模擬面接(個別、グループ面接)の指導を随時実施し、実践に備えました。

■就職懇談会

2月に企業担当者を招き、学生との個別面談を行う企業懇談会を学内で行いました。また、福岡・東京・大阪・広島で企業担当者と教職員の情報交換会及び加計グループ合同の就職懇談会を開催しました。

学生募集

■オープンキャンパスの充実

昨年好評であった学生主体で企画運営したオープンキャンパス「来てみん祭」への高校生の誘導を強化するため、県外送迎バスを運行しました。これにより、7月オープンキャンパスへの再訪者、9月オープンキャンパス時のAO入試へとつなげることで受験生を確保しました。

11月のオープンキャンパスは、実際の授業を公開し、大学生活の雰囲気を味わってもらい、より身近な感覚で受験生にアピールして入学者増に努めました。

■新たなホームページの開設

①モバイル(携帯)版ホームページ

高校生の情報収集ツールはモバイル(携帯)が主流となってきております。学部学科情報、入試情報などを動画配信、キャラクター製作、ゲームの配信など、芸術学部の学生による高校生目線のモバイル(携帯)版の新しいホームページを製作し、開設しました。

(<http://www.kusa.ac.jp/jei>)

人事・組織

■学部長等改選

管理運営体制を強化するため、新たに加計悟氏が副学長に、妹尾護教授が副学長補佐に就任しました。

また、昨年度末に副学長及び学部長の改選を行い、本年度より副学長に川上雅之教授（再任）、芸術学部長に田中孝教授、産業科学技術学部長に藤原敏勝教授、生命科学部長に岡田賢治教授（再任）、国際教養学部長に妹尾護教授（再任）が、それぞれ就任しました。

■インターナショナルセンター

神戸留学生別科の設置に伴い、事務組織を改編、留学生別科及び神戸留学生別科に対応する別科事務課を新設、学部、大学院留学生対応の留学生課を学生部から移動、統合して新たにインターナショナルセンターを設置しました。この統合により、留学生へのサービスの一元化、効率化を図りました。

主な行事

4月 5日	入学宣誓式
4月18日	霞祭
6月21日	オープンキャンパス
7月25日 ～26日	オープンキャンパス
9月 5日	教育懇談会（地方会場）
9月12日	教育懇談会（本学会場）
9月24日	留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月26日	通信教育課程学位記授与式
10月 3日	オープンキャンパス
10月23日 ～26日	芸科祭
11月16日	就職懇談会（東京）
11月23日	オープンキャンパス
2月10日	就職懇談会（本学）
3月 5日	就職懇談会（広島）
3月12日	就職懇談会（大阪）
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数			収容定員	在学者数			秋期入学 ※	
			留学生	社会人	留学生		社会人				
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	1	0	0	12	4	0	0	—	
	芸術研究科(修士)	20	12	0	0	40	28	0	0	—	
	産業科学技術研究科(博士)	4	1	0	0	12	3	0	0	—	
	産業科学技術研究科(修士)	16	10	0	0	32	15	0	0	—	
	人間文化研究科(修士)	15	7	4	0	30	12	8	0	—	
	大学院 計	59	31	4	0	126	62	8	0	0	
学 部	芸 術 学 部	美術学科 (募集停止)	—	—	—	80	78	0	2	—	
		美術工芸学科	40	37	1	0	85	83	1	0	—
		メディア映像学科	30	26	0	0	140	142	0	0	—
		工芸・デザイン学科 (募集停止)	—	—	—	—	70	53	0	0	—
		デザイン学科	30	41	2	0	65	74	2	0	—
		計	100	104	3	0	440	430	3	2	0
	技 産 業 学 部	IT科学科	30	20	4	0	170	124	7	0	—
		生命化学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		起業経営学科	30	39	31	0	130	127	74	1	—
		観光学科	45	58	36	1	85	100	64	3	—
		計	105	117	71	1	385	351	145	4	0
	部 教	教養学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		起業学科 (募集停止)	—	—	—	—	—	1	0	—	—
		計 (募集停止)	—	—	—	—	0	1	0	—	—
	生 命 科 学 部	生命科学科	45	42	0	0	265	290	1	0	—
健康科学科		60	55	0	0	240	241	0	0	—	
生命動物科学科		65	77	0	0	241	276	0	0	—	
生命医科学科		45	67	0	1	85	106	0	1	—	
計		215	241	0	1	831	913	1	1	0	
学部 計		420	462	74	2	1,656	1,695	149	7	0	
通学制 合計		479	493	78	2	1,782	1,757	157	7	0	
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	2	0	1	20	6	0	4	—	
	産業科学技術研究科(修士)	20	1	0	1	40	1	0	1	—	
	人間文化研究科(修士)	30	4	0	3	60	9	0	6	—	
	計	60	7	0	5	120	16	0	11	0	
学 部 (通 信 教 育 課 程)	産業科学技術学部	200	4	0	1	1,300	36	0	17	—	
	国際教養学部 (募集停止)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計	200	4	0	1	1,300	36	0	17	0	
通信制 合計		260	11	0	6	1,420	52	0	28	0	
総合計 (通学制+通信制)		739	504	78	8	3,202	1,809	157	35	0	
留 学 生 別 科	留学生別科	40	35	35	—	40	36	36	—	21	
	神戸留学生別科	100	75	75	—	100	75	75	—	36	
	留学生別科 計	140	110	110	0	140	111	111	0	57	

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成21年5月2日～平成22年3月31日)に入学した者です

(単位:人)

■卒業者数等一覧

(平成21年度)

区分		修了者・ 卒業者	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
大学院	博士	1	1	0	0	-	-
	修士	25	-	10	8	80%	2
学部		384	-	248	220	89%	28
大学院(通信制)		6	-	-	-	-	-
学部(通信教育課程)		6	-	-	-	-	-
留学生別科		102	-	-	-	-	97

(単位:人)

主な就職先	(株)スタジオ雲雀、(株)ガイナックス、(株)サンライズ、(株)トーヨータイヤジャパン、JFEスチール(株) (株)ゆうちょ銀行、東京消防庁、岡山警察本部、倉敷市消防局 他
-------	---

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計
1	2	75	19	16	5	3	121

事務職員

56

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

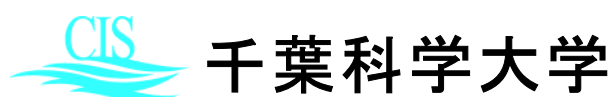
科目	年度	21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		2,794,541	2,688,645
補助金収入		492,598	472,023
その他収入		109,875	152,542
帰属収入合計		3,397,014	3,313,210
基本金組入額合計		△ 12,363	△ 28,487
消費収入の部合計		3,384,651	3,284,723
人件費		2,233,806	2,203,001
教育研究経費		1,155,837	1,113,874
管理経費		262,501	268,688
その他支出		21,990	25,903
消費支出の部合計		3,674,134	3,611,466

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
トイレ改修工事(女子、人感センサー)	4,600
ネットワークLAN整備工事(1号棟)	1,575
土地及び建物取得事業	264,000
(ヘルスピア倉敷)	69,300
ストロボ機器一式	3,843
魚類の環境実験設備	11,353
小動物飼育ラックシステム	6,930
生体活動レベル循環動態解析式呼吸代謝測定システム (文部科学省補助金(21,000千円))	31,500
顕微鏡用冷却加熱延伸観察ステージ(科学Tryアングル岡山補助機器)	5,490
XDCAM EX カメラ(科学Tryアングル岡山補助機器)	1,686
2号4階CALL教室システム8席追加	4,180
AV音響映像システム(2301教室)	1,980

平成21年度 事業報告



「健康で安全・安心な社会」の構築に
貢献できる人材の養成を行う



平成16年度に開学した本学も第2期生を社会に送り出し、薬学・危機管理の分野で活躍し始めています。大学院修士課程も昨年度に発足し、博士課程の申請を行いました。

本学園の建学の理念に基づき、**教員および職員が協力して、学生ひとりひとりとの個性を自覚できるように、コミュニケーションを盛んにし、学生各自の目標を設定できるように指導**しました。具体的には、

1. 学生との対話を重視する環境をさらに整えました。
2. 学生自ら目標を設定させ、それに応じた履修モデルを、教員が指導しました。
3. 健康で安全・安心な社会の構築のために最先端の研究を行い、教育に役立てました。
4. 地域社会との連携を深め、頼られる知の拠点となるよう努めました。

また、最新の研究を進めるための科学研究費等外部資金の獲得、文部科学省の教育研究、学生支援の各種の補助事業への申請を積極的に行いました。

千葉科学大学 学長 平野 敏右

教学関係

■薬学科4年次修了試験（OSCEとCBT試験）

薬剤師養成が6年制になったことに伴い、5年次の病院・薬局での長期実習前に4年次の1月にOSCE試験（技能・態度を評価する客観的臨床能力試験）とCBT試験（知識および問題解決能力を評価する客観試験）に合格する必要がある、そのための訓練と試験の実施場所として、第5号館（講義・実験棟）を建設しました。2階にあるコンピュータ室でCBT試験と対策を、OSCE室と講義室で試験と訓練を実施しました。

また、CBT試験のための教育支援システムを導入して訓練を行いました。

■動物生命薬科学科用実習・実験施設・設備の整備

平成20年に設置された動物生命薬科学科の2年次以降の実習、実験を行うために、第5号館（講義・実験棟）を建設しました。後期からの2年次実習や、動物実験技術者となるための訓練施設も1階に整備しました。

■自己点検評価の実施

開学して6年目を迎え、5月1日を基準日として自己点検評価を行います。20年度に「本学の現状と課題」を発行しましたが、それらをベースに自己点検報告書を作成し、完成後には、第三者

評価機関で、平成22年には評価を受けるために事前審査申請を行いました。

■外部資金の獲得

文部科学省が実施している国公立大学を通じた大学教育・学生支援推進事業の大学教育推進プログラムと学生支援プログラムに申請を行うと共に、科学研究費を始めとする外部資金の獲得のために申請を積極的に行います。また、産官学連携による共同研究、受託研究などに力を入れるために産業界との連携の場に積極的に参加しました。この中で学生支援プログラムが採択されました。

21年度新設学科・コース

平成21年度より危機管理学部の学科・コースの改組や薬学部薬科学科への化粧品科学コースの設置を行いました。

危機管理学部

平成20年度

平成21年度

危機管理システム学科

危機管理システム学科

危機管理コース

リスクマネジメントコース

救急救命学コース

公務員コース

防災システム学科

防災・安全学コース

防災安全コース

臨床工学コース

環境安全システム学科

動物・環境システム学科

環境科学コース

環境科学コース

マリンバイオコース

マリンバイオコース

臨床検査学コース

動物コース

感染防御学コース

医療危機管理学科

臨床検査学コース

臨床工学コース

救急救命学コース

申請・届出関係

■大学院博士課程の申請

平成20年に設置した大学院修士課程の上に博士課程（後期）を設置するために、薬科学研究科と危機管理科学研究科で検討を行い、5月末に申請を行い、薬科学研究科博士課程（後期）は10月30日、危機管理科学研究科博士課程（後期）は12月24日に認可されました。

■薬学部の学科改組

薬学部薬科学科及び動物生命薬科学科を統合、新たに生命薬科学科を設置し、5月末に届出を行い、承認されました。

■危機管理学部 航空・輸送安全学科の新設

危機管理の知識を修得し、航空機の安全な運行、整備をはじめとする安全な航空機の利用に寄与できる人材と災害や事故などの緊急時に運用される消防車、消防艇といった緊急特殊機械や機器を設計し、安全な輸送・車両の運用に関わることが出来る人材の養成を目指し、危機管理学部に新たに航空・輸送安全学科を設置し、5月末には届出を行い、承認されました。

また、実習で使用する航空機の格納庫の建設に着工しました。

■留学生別科設置の検討

平成22年4月より本学に留学生別科を設置のため、学則変更の届出を6月末に行い、承認されました。

課外活動

■学生警察支援サークル「スターラビッツ」

学生による防犯サークルが、警察と密に連携しながら銚子市内をパトロールし、地域の防犯に寄与するという画期的な取り組みをしています。

本年度1月には、「スターラビッツ」が地域安全活動推進に貢献したとのことで銚子警察署より感謝状を頂きました。

スターラビッツは、これまで地域の巡回パトロール、小学校での防犯対策講話や、警察署と協力して“振り込み詐欺防止”のチラシ配りなど、地域の安全に寄与する様々な活動を行いました。

■学生消防隊

学生主体の防災組織「学生消防隊」は、銚子市から千葉科学大学に貸与されている2台の消防車を用いて放水訓練や整備を自主的に行っています。

1月の銚子消防団出初式では、消防団長から、災害時に消防団の後方支援部隊として積極的に活動に参加した功績に対して、消防団長特別賞が贈られました。



就職活動支援

学生に対する就職支援、キャリア支援、各種資格取得支援、就職先企業の開拓などを行います。

■就職支援

3年次生を対象に、就職活動を進める上で必要なテーマを取り上げる就職ガイダンスや、様々な業界を知ってもらうための業界セミナーを学内で開催しました。

■インターンシップ

「企業等体験実習」の講義担当者と連携し、企業等に学生を派遣して就業体験させるインターンシップに取り組みました。

■合同企業説明会

採用担当者と本学学生がブース別に面談する合同企業説明会を学内で開催しました。

■キャリア支援

キャリア支援講座や、面接の際に必要なマナーを身に付けさせるためのビジネスマナー講座を開講しました。

■公務員試験対策

入門講座、ベーシック講座（前期）、スタンダード講座（後期）、直前対策講座を開講しました。また、業者主催模擬試験を学内で実施しました。

■企業開拓

様々な業種の企業を新たに訪問し、就職先の開拓を行いました。また、加計グループ5大学1短大共催の就職懇談会（東京、大阪、広島、福岡）を開催しました。

■大学パンフレットの作成

企業向け大学パンフレットを作成し、求人票と共に全国の主要企業や官公庁等に送付し、大学の就職支援活動を図りました。

■各種資格取得支援

防災士資格取得試験、漢字検定試験、秘書検定試験などを学内で実施しました。

学生募集

■地元銚子市をはじめ、千葉県、茨城県の通学圏の高校に対する広報活動の強化

通学圏内（半径50km内）の高校については、重点校と位置づけ、高校訪問・出張講義・オープンキャンパス動員等の活動を強化し、安定した入学者確保に努めました。そのために、教職員が1校ずつ担当することで、より密接な関係を築きあげました。また、入学式・卒業式などお互いの学校行事に教員が参加し合える体制を作りました。

■教育提携校締結の拡大と関係強化

現在12校との協定を結んでいます。特に東日本の受験実績が継続している高校に働きかけ、少なくとも15～20校へ指定校を拡大していきました。また現在締結している提携校に対しては、出張講義・オープンキャンパス動員は勿論、PTA総会等への働きかけも行ないました。入学式・卒業式などお互いの学校行事に教員が参加し合える体制を作りました。

■出張講義の拡大と内容の充実

進学説明会と並び、学外において高校生と直接話ができる出張講義は、年々実施回数を増やしています。今後は話す内容を教員と検討し、「高校生に夢を持たせる」内容で、多くの高校生に伝えていきます。

■E-広報の充実

アクセス数が年々増加傾向にある本学ホームページの内容をさらに充実するとともに、各業者の主力なWeb企画と連動することで、様々な受験者層に働きかけ、資料請求者の拡大を図りました。

■オープンキャンパスの充実

20年度は開学以来最高の動員数となりましたが、入学者に反映されませんでした。この反省を踏まえ、参加した高校生に「見せる」ことを重点に、より充実した内容を考えました。「この大学で、この研究室で、こんな研究してみたい」という夢を持たせるための内容を検討し、多くの高校生に見せたり、参加する内容で実施し、前年度を上回る参加者数となりました。

■その他

1) 塾へのアプローチ強化

近年増加している個別指導塾の中には、大手予備校と比べるとAO入試の指導に重点を置く塾も少なくないため、専願受験者確保のために働きかけを強化しました。

2) 地元の各種団体との連携

市役所等とのタイアップにより、市民の本学に対する理解を深めていくとともに、併せて地域貢献にも努めました。

主な行事

4月 3日	在学生オリエンテーション
4月 7日	入学宣誓式
5月31日	オープンキャンパス
7月25日 ～26日	オープンキャンパス
8月 1日 ～7日	前期定期試験
8月22日	オープンキャンパス
9月19日 ～26日	教育進路懇談会（地方） 教育進路懇談会（本学）
9月24日	後期オリエンテーション
10月 3日	オープンキャンパス
11月21日 22日	青澄祭（大学祭）
12月12日	合同企業説明会
2月 1日 ～6日	後期定期試験
3月25日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数		収容定員	在学者数		秋期入学 ※		
			留学生	社会人		留学生	社会人			
大学院	薬科学研究科(修士)	10	19	1	0	20	32	1	0	0
	危機管理学研究科(修士)	5	7	1	0	10	16	5	0	
	大学院 計	15	26	2	0	30	48	6	0	
薬学部	薬学科(6年制)	150	116	3	2	655	538	5	6	0
	薬学科(4年制) (募集停止)	—	—	—	—	—	103	—	1	
	薬科学科	40	11	2	0	150	86	2	0	
	動物生命薬科学科	40	21	—	0	80	53	—	0	
	計	230	148	5	2	885	780	7	7	
危機管理部	防災システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	200	135	29	0	0
	環境安全システム学科 (募集停止)	—	—	—	—	240	199	27	0	
	危機管理システム学科	95	99	34	0	315	312	68	0	
	動物・環境システム学科	60	53	14	0	60	54	14	0	
	医療危機管理学科	100	82	3	0	100	82	3	0	
計	255	234	51	0	915	782	141	0		
学部 計		485	382	56	2	1,800	1,562	148	7	0
総合計		500	408	58	2	1,830	1,610	154	7	0

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成21年5月2日～平成22年3月31日)に入学した者です (単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成21年度)

区分	修了者・ 卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
大学院	21	15	11	73.3%	4
学部	201	143	130	90.9%	26

(単位:人)

主な就職先	東京消防庁、横浜安全管理局、警視庁、総合警備保障(株)、銚子市役所 住友金属工業(株)、(株)日本システムディベロップメント、千葉県薬剤師会検査他
-------	--

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	教員 計	事務職員
1	2	50	22	18	9	5	107	53

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		2,438,930	2,808,778
補助金収入		342,004	328,459
その他収入		79,083	100,844
帰属収入合計		2,860,017	3,238,081
基本金組入額合計		△ 64,005	△ 20,486
消費収入の部合計		2,796,012	3,217,595
人件費		1,807,073	1,746,360
教育研究経費		1,171,046	1,197,438
管理経費		385,406	434,617
その他支出		770	4,894
消費支出の部合計		3,364,295	3,383,309

■施設設備整備計画(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
講義・実験棟 約2,000m ² ※薬学部OSCE試験(事前実務実習試験)対応室、薬学部 CBT試験対応室、動物飼育室、実験室、講義室他に使用 します。(6月末完成)	549,150
講義・実験棟の什器備品 (一部消耗品含む)	200,000
薬学部・危機管理学部 教育・研究用機器	17,081
CBT用教育支援システム (レンタル導入)	5,344 (総額29,500)
講義・実験棟ネットワーク整備事業	10,500
講義・実験棟入口電子錠取付	3,255
講義・実験棟PCルームパソコン整備	7,400
講義・実験棟PCルーム机・椅子整備	2,779
備品図書、洋雑誌、和雑誌(図書館)	19,723
航空機格納庫 (21年度着工、22年度完成予定)	4,935 (総額49,350)

平成21年度 事業報告

岡山理科大学附属高等学校

建学の理念の原点に立ち返って、これまで以上に、生徒・保護者・地域社会から信頼される学校づくりを推進します。



1) 生徒の学力向上のため、授業以外に放課後の補習や校外模試の実施、更には河合塾講師による受験指導(加計塾)の実施等に取り組みました。

その結果、国公立大学合格者51名(内現役生31名)関連大学合格者171名等昨年に比べ進学実績を大いに伸ばすことができました。また、就職希望者40名中39名を就職させることが出来ました。厳しい就職戦線の中でよく頑張ったと思います。

2) 生徒の品位向上のため朝の挨拶運動に取り組みました。その結果かなりの生徒が挨拶を返すようになりました。また夏休み明けと冬休み明けに遅刻防止週間を設け指導に当たった結果、遅刻回数を減らすことが出来ました。しかしながら身だしなみの指導においてはあまり成果が挙がっていないのが実情です。

3) 教員の資質向上のため、毎学期研究授業を実施し授業改善に取り組みました。また教科指導力や進学指導力向上のため、予備校主催の研修会に教員を派遣しました。更には特別支援教育の重要性を考慮して、専門家による講演会や支援の必要な生徒についてのケース会議の開催も行いました。教職員の意識改革を目的とする各種講演会も実施しました。こうした研修は、即効性はうすいかも知れませんがいずれはその効果が現れると思います。

4) 信頼される学校づくりのため、保護者との連携を強化すべくPTA活動や保護者会の充実にも努めました。

岡山理科大学附属高等学校 校長 橋爪 道彦

関連校との連携による質の高い教育の提供

■出張講義の活用

- ・進学理大コース(岡山理科大学全学科より)
- ・健康・スポーツコース
(倉敷芸術科学大学健康科学科より)
- ・情報・デザインコース
(倉敷芸術科学大学芸術学部より)
- ・生命動物コース(岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・岡山理科大学専門学校の生命・動物系学科より)
- ・機械科、電気情報科
(岡山理科大学 工学部より)

■校外学習の推進

- ・岡山理科大学での情報系科目の受講
- ・岡山大学による高校生向け科目の受講
- ・サイエンスサマーキャンプ・科学の祭典等への参加
- ・芸科大での実習(情報デザインコース)
- ・池田動物園・理専での実習(生命動物コース)
- ・順正短大での受講(通信制課程)

学校内での学力向上取組

- ・朝の読書の実施
- ・シラバスの作成
- ・学校評価の実施
- ・補習・諸検定試験の実施、模試の活用
- ・各学年毎に生徒・保護者対象の進路ガイダンスの実施

生徒指導への取組

- ・朝のあいさつ運動の実施・休み明けの遅刻防止強化週間の設定
- ・PTAと協力しての保導活動（街頭保導・列車保導・バス乗車指導）の実施
- ・教育相談室・保健室と担任・生徒部・管理職との連携強化
- ・岡北セーフティネットを通じて地域との協力・連携強化

教職員への資質向上への取組

- ・研究授業の毎学期実施
- ・教職員・保護者対象の各種研修会の実施
- ・教職員・保護者対象の関連大学見学ツアーの実施
- ・予備校主催の受験指導講座への参加
- ・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）への申請

21年度新設学科・コース

■健康・スポーツコース

平成21年度より「体育コース」の名称を「健康・スポーツコース」に変更、カリキュラムも専門スポーツ分野の高度化に伴い、生徒各自がそのスポーツ能力の伸長を図れる様、単にスポーツ技能の向上だけに止まらず、科学的トレーニング方法や食育など健康科学の幅広い分野の学習と知識の習得が出来るべく変更しております。

また、現代社会において健康志向がかつてない高まりを見せている中、本来スポーツ活動と健康増進とは密接な関係にあることもあり、生徒の希望進路も個々のスポーツ技術・能力を伸ばすだけの目標から、自己の習得した技能・知識をもとにスポーツ指導者としてスポーツ振興に寄与したい、はたまたスポーツを通じて地域社会における健康増進や青少年健全育成に貢献する活動に取り組みたいなど、多岐にわたる目標へと変化してきております。

そこで、男女を問わず専門スポーツの履修を通じての心身共健康な生徒の育成はもとより、高大連携を活用して運動生理学・栄養学・体育指導論など高度な学習を導入し、トップアスリートを目指すのみならず、スポーツと健康に関わる人材の育成にも取り組むため、現行の体育コースの教育課程に変更を加え、名称もその目指すコースに相応しいように、「健康・スポーツコース」に改めました。

申請・届出関係

■進学医療コース

少子・高齢化の中、医療従事者へのニーズが高まることを予想して、関連大学・専門学校医療関連学科との連携・協力のもと、進学医療コース（定員30名）を普通科に設置致しました。

■アニメ・デザインコース（情報・デザインコース名変更）

普通科情報・デザインコースをアニメ・デザインコースに名称変更を行いました。アニメ・デザインコースでは、デザイン分野に加えてアニメーションを取り入れることにより、Webデザイン等にも応用できます。特に本校の関連学園である倉敷芸術科学大学の芸術学部との連携で他校が追随できないコース設定が可能となります。

■進学総合コース（普通コース名称変更）

普通科普通コースを進学総合コースに名称変更を行いました。本校の他コース（特進、進学理大など）との違いを明確にします。

■特別進学コースの改革

本校における最重要コースである特別進学コースの更なる充実並びに特色化を図り、難関大学・医学部医学科への進学者の増加を目指すべく、英数学館高等学校と合同で予備校講師による加計塾を開設しました。

課外活動

2009年度全国大会出場記録

■全国高等学校総合体育大会（インターハイ）

[アーチェリー部] 個人男子出場
[相撲部] 団体・個人出場
[ソフトテニス部] 団体男子3位・個人男子9位
[アイススケート部アイスホッケー部門] 出場

■国民体育大会

第64回トキメキ新潟国体
[相撲部] 団体出場
[ソフトテニス部] 団体出場
くしろサッポロ氷雪国体（冬季競技）
[アイススケート部アイスホッケー部門] 少年の部出場

■その他全国大会

[柔道（男子）] 第58回全国高等学校柔道大会
男子100キロ出場
[相撲部] 第93回全国高校相撲金沢大会出場
第87回全国高等学校相撲選手権大会
団体・個人出場
[ソフトテニス部]
全国高等学校選抜ソフトテニス大会 ベスト8
朝日カップ高校選抜大会出場
ハイスクールジャパンカップ ベスト8
[テニス部] 全国ジュニアテニス選手権
男子シングルス ベスト32
男子ダブルス ベスト16
[アイススケート部アイスホッケー部門]
第4回 全国高等学校選抜アイスホッケー大会出場

■通信制

[柔道部] 第40回全国高等学校定時制通信制柔道大会
男子団体、個人・女子個人出場

■文化部

【機械研究部】

- ・全国海岸清掃ロボットコンテスト海洋レスキューロボット部門優勝
- ・全国高等学校ゼロハンカーレース大会優勝
- ・高校生テクノフォーラム優秀賞
- ・第1回府中EV&ゼロハンカーレース一般の部総合優勝

■半田山午砲台

機械科の生徒が半田山の午砲台の復元に取り組み、12月4日、半田山にて設置式を行いました。

この午砲は、当時「半田山のドン」の通称で親しまれ、明治から大正にかけて庶民に正午を知らせたと伝えられています。



復元された午砲

就職活動支援

早い時期からの進路目標確立のため、学年別・進路先別にガイダンス、講演会を計画、また各科・コースにおいても生徒、保護者対象に進路説明会を実施して、生徒の進路意識を高めると同時に生徒一人ひとりに適した進学・就職先を指導。

また、昨年同様に有名難関大学の指定校獲得のため、可能な限り大学訪問を行い、就職先ではより有名、優良企業の求人確保のため、企業訪問を実施いたしました。

生徒募集

入試広報部と中高入試広報室とが共同できめ細かい広報活動を行います。3月下旬に入学生、在校生の状況確認、報告をするための中学校一斉訪問からスタートしていきます。7月、10月にオープンスクールを行い、それとは別に8月に部活動中心のオープンスクールも行い勉学・スポーツ両面から紹介致しました。その他学校説明会（中学校、塾、生徒・保護者対象）、入試セミナー等を開催致しました。内容としましては紹介資料が生徒一人一人に行き渡るよう数だけセットし中学訪問を行いました。またDVDを作成し、高等学校だけでなく加計学園、グループの大きさを理解していただきながら募集をかけました。入試についても本校ならではの地方会場（本校、倉敷、玉野、高梁）を設け他校に無いことを遂行して行きました。ニーズにあったコース、学科を考え、常に前を見据えた広報活動を展開致しました。

主な行事

4月 8日	始業式
4月 9日	入学式
4月30日	創立者の日
5月 1日	交通安全講習会
5月16日	PTA総会
6月23/24日	球技大会
7月18日	第一回オープンスクール
8月31日	全校集会
9月29日	体育祭
10月 2日	文化祭
10月24日	第2回オープンスクール
1月28/29日	選抜I期入試
3月 1日	卒業式

生徒・教職員数

■在籍生徒数

(平成21年5月1日現在)

課程・学科・コース名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
全 日 制 課 程	普 通 科	普通コース	72	1,140	254
		特別進学コース	42		165
		中高一貫コース	26		54
		進学理大コース	56		169
		健康・スポーツコース	57		144
		情報・デザインコース	17		58
		生命動物コース	31		57
		普通科 計	301		901
	機械科	80	83	240	209
	電気科	(募集停止)	—	35	6
情報科	(募集停止)	—	35	28	
電気情報科	40	38	80	64	
全日制課程 計		500	422	1,530	1,208
通信制課程 (広域) 普通科				600	350
総合計		500	422	2,130	1,558

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成21年度)

区分	卒業者	就職希望者	就職者	就職率	進学希望者	進学者	進学率
		A	B	B/A	C	D	D/C
全日制課程	364	76	54	71%	320	300	94%
通信制課程	120	2	2	100%	63	55	87%

(単位:人)

主な就職先	(株)サノヤス・ヒシノ明昌 水島製造所、備南工業(株)、三菱自動車工業(株)水島製作所、(株)豊田自動織機、(株)デンソー 他
主な進学先	島根大学、岡山大学、香川大学、山口大学、慶應義塾大学、立命館大学、関西大学、同志社大学 岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、吉備国際大学 他

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
(1)※	4	73	77	20

※校長は大学教員と兼務

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度 21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	797,548	803,470
補助金収入	386,938	413,848
その他収入	174,119	70,176
帰属収入合計	1,358,605	1,287,494
基本金組入額合計	△ 153,289	△ 17,498
消費収入の部合計	1,205,316	1,269,996
人件費	1,229,114	1,177,110
教育研究経費	244,701	231,459
管理経費	144,156	149,699
その他支出	57,531	65,458
消費支出の部合計	1,675,502	1,623,726

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
東寮新館改修工事	9,300
実習棟新築工事 (好適環境水実験施設及びドックラン)	333,400 追加工事5,140

平成21年度 事業報告



岡山理科大学附属中学校

完全なる中高六年一貫教育により勉強と課外活動を両立させながら、六年後は全国のトップ大学および医歯薬獣系大学、関連大学へ進学させることを通じて、日本社会各分野のトップリーダーとなる人材を育成する。



完全なる中高六年一貫制による思い切った先取り教育、大学の支援による自習支援室、学外有力講師によるトワイライト・セミナー等の充実により、国立大学医学部や超難関私立大学等への合格・進学を実現しました。

大学への支援を受ける等、理科教育に力を入れ、生物系3学会において最優秀賞を受賞するとともに、ロボット研究会を立ち上げ、ロボカップジュニア大会に参加し、上位入賞を果たしました。

課外活動を活発化させ、健全な体力と充実した気力を兼ね備えた人間教育を充実させ、全国中学ソフトテニス大会で優勝を果たしました。

岡山理科大学附属中学校 校長 新倉 正和

教育の充実

■MEDICALクラス、PREPクラス

今年度3年生から、学力強化を図るため、MEDICAL（医系進学）クラスとPREP（難関大学進学）クラスのクラス分けを行い、学力上位層の強化および下位層の底上げをはかりました。生徒一人ひとりに対するキメ細かいフォローを行い、超難関大学・医歯薬獣系大学への進学実績を向上させました。

■チューターによる自習支援室

放課後、自習支援室を設け、岡山理科大学の大学院生をチューターとして配置し、生徒の質問に答えるなど、学力向上を支援しました。特に、学力下位層については、指名補習も実施し、弱点強化をはかりました。

■学内外有力講師によるトワイライト・セミナー

高2・高3の学力上位層について、放課後、トワイライト・セミナーを開催し、学内外有力講師による大学受験指導を行いました。これにより、超難関大学・医歯薬獣系大学への進学実績を向上させました。

新規事業

■科学オリンピック、SSHへの挑戦

関連大学（岡山理科大学、倉敷芸術科学大学）の教授陣による高大連携プログラムに積極的に参加させ、先端自然科学に対する好奇心を醸成するとともに、芸術文化分野における感性を醸成しました。附属高校が主導するSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）に対して連携・協力するとともに、科学オリンピックに向けた取り組みを継続しました。

■イメージ教育（英会話、芸術科目）

専任ネイティブ教員によるイメージ教育（英会話、芸術科目）を継続・強化し、生活感覚の中から英語力を強化するとともに、グローバル・スタンダードを持ち、国際社会で活躍できる人材の育成をはかりました。

■教育活動の進捗状況

中高六年一貫コースの目標として、全国難関大学や医歯薬学系大学への進学を目指しており、6年の課程を前倒しで進めるとともに、全国模試や各種検定試験指導を強化しました。全国模試や各種検定とともに、一学年上のレベルに挑戦させ高い実績を得ました。数学検定では、中学3年生のうち1人が準2級（高校中級レベル）に合格しました。同様に、英語検定では2年生1人と3年生1人が準2級、漢字検定では1人が2級、1人が準2級に合格しました。

1年生は倉敷芸術科学大学で陶芸、ガラス工芸実習を、2年生は玉野総合医療専門学校で介護体験実習を行いました。中学3年生はNPO法人まちづくり推進機構岡山の協力を得てメディカル体験を行いました。

■ソフトテニスコートの増設

昨年度より、男女ソフトテニス部を創部しました。創部2年目にもかかわらず男女とも揃って中国大会出場を果たし、団体女子が優勝するなど活躍いたしました。従来は高校のテニスコートの間借りして練習を行っておりましたが、新入生を新たに迎え部員も大幅に増えたため、テニスコートを増設（4面）しました。（11月19日）

■教育交流協定の締結

平成20年度から海外研修受け入れ先となった、南オーストラリアのバンクシャー・インターナショナルハイスクールと教育交流協定を締結して、相互の交流を深める予定でしたが、新型インフルエンザ感染拡大の影響により、今年度の研修旅行は中止となりました。

■校外研修、インターアクト活動の推進

これまで関連大学や関連専門学校への医療分野や芸術分野の研修を実施してきましたが、それに加えて人間力・自発力の向上を目的として、岡山理科大学の教育GPの支援を受け、牛窓ヨットハーバーにおける段ボール製ボート作りを中心とした「ものづくり自然体験学習」等を実施しました。また、これまで生徒会ではミャンマーのサイクロン被害者への支援活動を実施してきましたが、それを北西ロータリークラブのインターアクト活動へ発展させました。

課外活動

■部活動の実績

ソフトテニス部が創部2年目にもかかわらず団体男子が全国優勝を果たしました。団体女子も県大会優勝、中国大会出場を果たしました。

また、女子バレーボール部においても中国大会出場を果たしました。

生徒募集

■広報活動

入学者確保のため、広報・募集対策活動の充実を最重要課題として位置づけました。志願者数と入学者数の拡大については、戦略ワーキンググループを設けて計画的に進めました。生徒募集活動においては、塾及び小学校との連携をより一層深めるために、実施日を決めて教員が塾及び小学校への一斉訪問を実施しました。

8月下旬に開催するオープンスクールに実験教室、バレーボール教室、ソフトテニス教室、イメージ教育の授業、講演会を組み込むなど魅力ある内容にしました。また、学校案内をはじめ学内発行の新聞やPR冊子を、小学校及び小学校PTA並びに塾や町内会、ロータリークラブ宛にも発送し、学校のPR活動に努めました。体育祭並びに学習発表会の開催の案内も併せて実施しました。町内会、ロータリークラブ等との連携を通して、地域に愛され親しまれる学校づくりに努めました。

■具体的な方策

- ①小学校の重点学区を設けて、学校案内や入試要項を6年生全員に配布しました。
- ②重点塾を設けて、実験教室の案内をひとあし先に配布する。重点塾を対象にした実験教室を行うなど、塾との関係を一層強化しました。
- ③入試説明会やオープンスクールで医歯薬系に関する講演会を行いました。
- ④11月の岡山理科大学の学園祭の「わくわく広場」の開催日に中学校のオープンスクールを組み込みました。
- ⑤ソフトテニス部のジュニアチームに出向き、指導を行うなどして交流をはかると同時にPRを行いました。
- ⑥岡山シーガルズの河本監督と協力して、スポーツ少年団を回るなど、女子バレーボール部のPRに努めました。
- ⑦美術の授業で牛乳パックから手作りのハガキを作り、出身小学校にオープンスクールや近況報告を行いました。

■入試説明会

7月 6日(月)	塾対象
10月 1日(木)	塾対象
10月17日(土)	
11月 6日(金)	トワイライト
11月 7日(土)	神戸、姫路
12月 5日(土)	神戸、姫路

■オープンスクール

7月30日(木)	9:30~12:00
8月26日(水)	9:30~12:00
8月27日(木)	9:30~12:00

■実験教室

6月27日(土)	13:00~15:00
7月30日(木)	9:30~12:00
8月26日(水)	9:30~12:00
8月27日(木)	9:30~12:00
9月26日(土)	13:00~15:00
10月24日(土)	13:00~15:00
11月7日(金)	18:00~19:00

■生徒の募集・広報

岡山市、倉敷市、赤磐市、備前市、神戸市、明石市、姫路市、相生市を中心に塾訪問及び小学校訪問を行いました。7月、8月、9月、10月、11月、12月にオープンスクール及び入試説明会を行いました。7、8月に開催したオープンスクールに実験教室、バレーボール教室、ソフトテニス教室、イメージ教育の授業、講演会を組み込み約1,000名の参加者を得ました。10月に開催した入試説明会では、適性検査対策特別講座を組み込み約150名の参加者を得ました。

主な行事

4月9日	入学式
4月26日	授業参観
5月16日	P T A総会、授業参観
6月13日	海外研修 6/21まで
7月29日	休み前集会
9月1日	休み明け集会
9月12日	体育祭
9月30日	前期終業集会
10月5日	後期始業式
11月14日	学習発表会
12月24日	休み前集会
1月8日	休み明け集会
1月16日	百人一首大会
3月18日	義務教育終了式
3月19日	終了式

生徒・教職員数

■在籍生徒数

(平成21年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	55	240	158

(単位:人)

■卒業者数等一覧

(平成21年度)

区分	修了者	内部 進学者	その他
岡山理科大学附属中学校	39	31	8

(単位:人)

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員計
(1)※	1	16	17

※校長は大学教員と兼務

事務職員
3

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度 21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	85,158	77,644
補助金収入	54,419	50,395
その他収入	25,353	24,849
帰属収入合計	164,930	152,888
基本金組入額合計	△ 373	△ 939
消費収入の部合計	164,557	151,949
人件費	212,395	211,572
教育研究経費	35,506	35,789
管理経費	18,209	15,504
その他支出	0	0
消費支出の部合計	266,110	262,865

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
ソフトテニスコート4面増設	48,500

平成21年度 事業報告

岡山理科大学専門学校

建築と動物そして魚のスペシャリストを養成。
ステーキホルダーに支持されるように教職協働
で学校運営にあたる。



「使命」

専門学校の使命は言うまでもなく、有為で即戦力となる卒業生を輩出することにあります。専門的な技術や知識の修得、検定や資格の取得をさせることと、人としてバランスの取れた人材の育成に力を注ぐことを、本校の「使命」とします。

「方針」

教育基本法の第三条に、「……学習の成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない……。」とあります。われわれ教育に携わる者は何のために、誰のための教育であるかをしっかり認識する必要があり、それらを履行しなければならない責任があります。

教育は、社会にとって有益でなければなりません。岡山理科大学専門学校ではそれらのことが最大限に活かされるよう頑張ってきました。結果として、昨年度は一昨年度とほぼ同等の100%に近い就職率(一昨年度は100%、昨年度は98%)で締めくくることができました。特に建築学科においては昼間部・夜間部共に11月末には全員が内定をいただくなど顕著な成果を残しました。

今後も、今まで本校が培ってきたノウハウを基に、「教育をカタチ」にする具体例として、動物看護学科では動物看護師の国家資格化に向けて今年度より現在の2年制課程に加えて3年制課程を併設したことや、動物系学科を中心とした「犬の温泉入浴による生理活性効果の調査研究」、また建築学科とアクアリウム学科のコラボレーションによる「屋上緑化の研究」が昨年度より始まり、それらの研究が本年度は本格的に進行することとなります。また、近々に新しい学科を立ち上げるための準備を進め、鋭意検討をいたしています。

岡山理科大学専門学校 校長 小林 正文

教育の充実

■きめ細かい教育

教職員が学生個々を把握し、専門技術の習得はもとより、学生とのコミュニケーションを密にとり学習意欲の維持、就職活動の啓発等から満足度の高い学生生活を確保しています。

■動物(犬)の温泉入浴による生理活性効果の調査に関する協定

犬の温泉入浴による生理活性効果の調査を真庭市と湯原町旅館協同組合の協力を得て実施することになり、10月30日に真庭市と加計学園との間で包括連携協定が締結されたのを受けて、同日、本校と湯原町旅館行動組合との間で、「動物の温泉入浴による生理活性効果の調査に関する協定」を締結しました。

■最新型ノートパソコンの導入

コンピュータ実習並びにレポート作成等で使用するコンピュータ実習室のノート型パソコンをよりハイスペックな最新型の機種52台導入し、ホームページの作成、画像処理などコンピュータ実習をスムーズに動作させています。

■ネットワーク回線の整備

今春、購入の最新型のノート型パソコンでの実習や就職活動および卒業研究等の情報検索の際、これまでとは違ってスムーズに動作できるよう10 Mb/sに増設しました。また、学生サービスの一環として女子寮への回線設備も同時におこなっており、インターネットの施設をさらに充実させました。

教職員の意識改革

■自己点検、自己評価

専任教員対象に実施している授業アンケートを、本年度は対象を拡大(非常勤講師、事務職員等)しました。また、アンケート結果を開示するなど、更に一步踏み込んだ形での実施を行いました。

自己点検・自己評価についても、校内で議論し理解を深め、段階的にデータ化を行いました。

■コスト意識

人件費、光熱水費、教育・研究用消耗品について有効活用、合理化、節約について事ある毎に啓発し、エコ教育に繋げました。

申請・届出関係

■動物看護学科 3年制

動物看護師の国家資格化に対応するため、従来の2年制コースに加えて、3年制のコースを平成22年度から新設し、高度医療に対応する動物看護師の養成機関としてさらに充実させた。

少子高齢化が進む昨今、家庭内でペットはコンパニオンアニマルとして家族の一員、時にはそれ以上の存在であり、そのコンパニオンアニマルの健康、長寿を手助けする獣医師をサポートする幅広い専門技術と知識を備えた動物看護師を養成することで平成21年10月に締結した真庭市との包括協定及び真庭市並びに湯原町温泉協同組合と動物(犬)の温泉入浴による生理活性効果の調査に関する協定書に基づき調査活動を本格的に開始しました。

課外活動

■ワンデーエクササイズ最優秀賞受賞

11月14日、第16回ワンデーエクササイズ(岡山建築設計クラブ主催の設計競技会)が開催され、本校学生が、最優秀賞と優秀賞を受賞し、昨年度に続き最優秀賞受賞の二連覇となりました。



最優秀賞受賞作品

就職活動支援

■就職活動ガイダンス

- 1年生：7月 インターンシップ実施説明会
10月 進路選択について
12月 情報収集と企業へのエントリー
2年生：4月 履歴書、面接について
6月 内定礼状の書き方

■就職支援

1年生の12月の段階で進路希望調査書を元に1月より第一希望の企業を決定させました。動物系においても一般企業を希望する者は2月より直ちに就職活動を開始させ、学生の満足度の高い企業への就職を目指すよう指導を行いました。動物系専門職への就職は3月以降のインターンシップへの参加により、殆どの学生が、第一志望への内定獲得を得られました。

学生募集

■指定校の広域化および減免枠の拡大

新年度は指定校のエリアを拡大すると同時に入学金並びに受験料減免等の枠を拡大し、学生確保に努めました。

■オープンキャンパス参加者の増加

オープンキャンパス開催にあたり、参加の学生には従来地方バス無料送迎を行っております。

今年度は更に地域ごと一定の交通費の支給を検討し、特に7、8月は重点的に実施しました。

■各種メディアへの露出

雑誌、フリーペーパー、新聞、JR車両中吊り、テレビ等予算内での宣伝を実施しました。

■美容院、理容院へのパンフレット設置

待合いの時間に読めるよう、設置を依頼を行いました。

■量販ペットショップへのポスター掲示

店内のインフォメーションボード若しくはレジ後ろの掲示スペース等にオープンキャンパス等のポスター掲示を行いました。

■資料請求者の増加

春先に近畿エリアへのダイレクトメール及びリクルート関連イベント参加者へのPRチラシを5,000部配布しました。

人事について

■小林正文新校長就任

圓堂稔前校長の任期満了に伴い、新たに小林正文氏（前岡山理科大学附属高等学校通信制課程教頭）が校長に就任しました。なお、前校長である圓堂稔氏は新たに校長顧問に就任しました。

主な行事

4月 8日	入学式
4月13日	授業開始
7月21日 ～ 8月31日	夏季休暇
9月 7日 ～11日	前期末試験
10月 1日	後期授業開始
12月23日 ～ 1月 6日	冬期休暇
2月 2日 ～ 8日	後期末試験
3月20日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
工業 専門課程	建築学科(昼間部)	70	32	140	62
	建築学科(夜間部)	20	14	40	27
	福祉住環境デザイン学科 (募集停止)		—	—	0
	計	90	46	180	89
商業実務 専門課程	映像情報学科 (募集停止)		—	0	0
	計 (募集停止)		—	0	0
文化・教養 専門課程	動物看護学科	60	43	120	86
	トリミング学科	40	32	80	56
	ドッグトレーニング学科	40	44	80	75
	アクアリウム学科	40	42	80	68
	計	180	161	360	285
文化・教養 一般課程	トリミング学科	10	1	10	1
	ドッグトレーニング学科	10	0	10	0
	アクアリウム学科	10	0	10	0
	計	30	1	30	1
合 計		300	208	570	375
建築学科専攻科		10	7	10	7
動物系総合学科研究科		25	12	25	12

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成21年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
岡山理科大学専門学校	175	130	125	96%	35

(単位:人)

主な就職先	丸川設計事務所、東日本ハウス、荒木組、市立玉野海洋博物館、警察訓練所、アミーゴ、アマノ動物病院、山根動物病院 他
-------	---

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	0	13	14	11

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		317,996	341,391
補助金収入		444	389
その他収入		5,938	6,262
帰属収入合計		324,378	348,042
基本金組入額合計		△ 547	△ 21
消費収入の部合計		323,831	348,021
人件費		212,427	224,037
教育研究経費		91,464	98,560
管理経費		35,599	37,702
その他支出		2,434	2,858
消費支出の部合計		341,924	363,157

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
1校舎屋上防水工事	4,000
ピロティ排水工事	400
電源工事	230

平成21年度 事業報告



玉野総合医療専門学校

21世紀の医療・保健・福祉のスペシャリストを育成します。



「学・術・道」の校是のもと21世紀の医療・福祉社会が求める専門職育成を目指して、国家試験の全員合格を目標に全学を挙げて

取り組みました。

平成22年度より、リメディアル教育（基礎学力の向上）、初年次教育（動機付け）を取り入れ、学力の向上に努めました。

入学定員確保のために教職員一丸となって広報活動に取り組みました。

以上の結果が、入学生の確保に結びついたと思われます。

玉野総合医療専門学校 校長 岡田 茂

教学環境の整備

■教育支援の実施

新入生の学力を把握するために4月に学力検査を実施し、基礎学力向上のために副校長および教務主任を中心として組織作り、教育内容を検討し、補習授業等を行いました。

■新カリキュラム導入

21世紀の医療・福祉社会で即戦力となる専門職を育成するため、現状・将来を見据えたカリキュラムを導入しています。本年度は、1年目です。

■新入生宿泊研修の充実

平成19年度から実施している新入生合同宿泊研修の内容を充実させ、学科を超えた交流を行い、コミュニケーション能力および仲間意識を強め連帯感を持たせる目的として行いました。

■教育・進路懇談会の実施

平成20年度から「教育進路懇談会」を実施しました。この内容をより充実させることにより、学校と保護者の間で連絡が密に取れるようにしました。

■教室等の環境整備

授業でパワーポイント及びDVD等の使用した授業が増えたため、全教室にプロジェクター等を設置しました。

学内環境整備

■スクールバス新規路線の運行

通学学生の増加に伴い、倉敷～岡山～茶屋町～本校へのJRの乗り継ぎを解消するために倉敷駅発茶屋町経由のスクールバスを11月から新設しました。

■中庭の整備

4学科の学生が交流できる場所として中庭の環境を整えました。

地域との連携等

■教育協定校の締結

玉野市内の高校との教育協定を締結することで高校との連携を図っています。今年度は、市内中学校2校と市内の高等学校1校で福祉の授業を実施しました。

■公開講座の充実

本校では、毎年公開講座を実施していますが、平成21年度から玉野生涯学習センターとの連携により、玉野市民に対して保健・医療・福祉分野の情報を幅広く提供します。今年度は8月に実施しました。

■玉野市内の行事への参加

玉野市で開催される「たまの港フェスティバル(5月)」「かつからか祭り(8月)」等の行事に学生および教員が積極的に参加しました。

また、10月に開催する学校祭「優勇祭」に市民団体等の参加を呼びかけ、多くの市民に来校していただきました。

就職活動支援

■保健看護学科

就職担当教員による県内全域の主たる病院施設等への訪問、及び既卒者による各自の就職先の紹介、卒業前と就職後の各自の意識の違いなどに関する意見交換会を開催しました。

■介護福祉学科

就職担当教員による県内施設への求人状況の問い合わせを行いました。

■理学療法学科・作業療法学科

就職担当教員による県内外の本校実習施設及び病院施設等への問い合わせを行いました。

学生募集

■指定校の追加実施

平成21年度入試から、保健看護学科と介護福祉学科で実施した指定校を22年度入試から全学科で実施しました。

■職業訓練生委託事業の実施(介護福祉学科)

雇用対策の一環として平成21年度より岡山県が実施する職業訓練事業(介護福祉士養成)の受け入れ先となり、介護福祉学科へ訓練生を受け入れました。

■加計学園三大学同窓生子女特典制度

平成21年度入試から3大学で実施したこの特典制度に平成22年度入試から本校も対象校となりました。

■入学金減免制度実施(専願学生確保のため)

指定校で合格した学生の入学金減免制度を実施しました。

■学校案内ビデオ(DVD)の作成

本校の紹介は、広報用パンフレットを使用していますが、動画等を取り入れることにより受験生に本校の魅力を伝えるために広報用ビデオ(DVD)を作成しました。

■オープンキャンパスの充実

平成20年度オープンキャンパスの開催日数、及び内容を充実させ高校生に魅力あるイベントにしました。

また、山陰方面からの受験者が増加したため、平成21年度も引き続き送迎のためのバスを運行しました。結果、オープンキャンパスの参加者数が増加しました。

■テレビCM等の実施

オープンキャンパスの周知及び専願制入試学生確保のため5月から8月の期間集中的にテレビCM等を実施しました。

また、本校の認知度を上げるため、茶屋町駅・児島駅・倉敷駅・西大寺駅に看板を設置しました。

■スクールバス新規路線の運行

平成20年10月から岡山駅西口～本校間を運行しています。学生に非常に好評であり、平成21年度入試においても効果がありました。また、岡山市内・玉野市内においても本校をアピールすることができました。

この成果から岡山県西部の学生を確保及び倉敷市内へのアピールのために倉敷駅発、茶屋町経由本校間のスクールバスの運行を11月から運行開始しました。

主な行事予定

4月 1日～ 4月 2日	春期休業
4月 5日	入学式
4月 6日	前期講義開始
7月27日～ 8月 7日	前期試験期間
8月 9日～ 9月 6日	夏期休業
9月28日	後期講義開始
10月 3日～10月 4日	学校祭
12月24日～ 1月 5日	冬季休業
1月26日～ 2月 8日	後期試験期間
3月10日	卒業式
3月21日～ 3月31日	学年末休業



学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
医療専門課程	保健看護学科	40	44	160	120
	理学療法学科	40	38	160	173
	作業療法学科	40	23	160	120
	計	120	105	480	413
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	40	21	80	36
	計	40	21	80	36
合 計		160	126	560	449

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成21年度)

区分	卒業生	就職希望者	就職者	就職率	進学者
		A	B	B/A	
玉野総合医療専門学校	104	103	89	86%	0

(単位:人)

主な就職先	国立がんセンター、国立病院機構、岡山大学病院、鳥取大学医学部附属病院、岡山赤十字病院、済生会今治病院、日本鋼管福山病院 他
-------	---

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計	事務職員
1	2	28	31	8

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度	21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入		476,042	505,762
補助金収入		26,681	26,831
その他収入		14,090	7,318
帰属収入合計		516,813	539,911
基本金組入額合計		△ 794	△ 2,299
消費収入の部合計		516,019	537,612
人件費		344,107	343,839
教育研究経費		194,475	188,275
管理経費		38,818	38,196
その他支出		55	3
消費支出の部合計		577,455	570,313

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
屋上へ看板設置	1,848
図書室入退室ゲート更新	3,365
スクールバス(倉敷方面用)	2,900

平成21年度 事業報告



倉敷 食と器 専門学校

「好きをスキルに、夢をカタチに」

器や食全般の知識を身に付け、調理師・製菓衛生師の資格を取得する食と器をコラボレートさせた教育をします。



建学の理念に則り、2年間の修業期間の中で、多岐にわたり、奥深い実習を重点的にを行い技を取得し、社会に有為な人材を送り出す実務学校です。

また、インターンシップをいかした就職活動に力を入れ、不況の就職難に対処してきました。実習においては、麺・寿司・石窯を使ったパンや食をとり入れた器の野外実習などの他の学校では体験できない特色のある実習を行いました。陶芸・ガラスにおいては、公開講座を開講し、地域との交流を行いました。

倉敷 食と器 専門学校 校長 伊藤 敏夫

特徴のある教育内容

■器デザイン学科への変更

平成21年度より、「高度陶芸ガラス創作学科」を「器デザイン学科」に変更し、陶芸やガラス制作のみならず、デザイン力を重視し、トータル的に器を理解できる人材の育成を図りました。

食をとり入れた野外実習を開始し、野焼きで作った土器に器の原点を見だし、創作意欲を培いました。

また、フードコーディネーター・カラーコーディネーターの資格も取得でき、将来の活躍の場をひろげることにより学生の満足度の向上に努めました。

■高度調理フードコーディネート学科

カリキュラム変更を行い、2年次に、より実習を増やし、麺実習・寿司実習を集中的に行い、一層の技術の習得を目指しました。

特に、麺実習については、うどん・そば・パスタ・ラーメンと全般にわたり実習を行いました。また、和食においては、羽釜を設置し、釜で炊くご飯の体験も実施しました。

「おかやま桃太郎まつり・秋のイベント” 鯖料理コンテスト”」に参加し、学生3名が優秀賞を受賞しました。

■高度製菓製パン学科

校内設置した石窯により、パン・ピザ等の実習を新しく追加しました。また、東京より著名なパティシエを呼び、特別授業を行いました。コンテスト等にも積極的に出展し、毎年、入賞実績はありますが、さらなる入賞を目指し、技術指導を行いました。

5月27日 岡山県洋菓子コンテスト・ジュニアの部において、銀賞、銅賞、優秀技術賞、合わせて10名（卒業生を含めると12名）が受賞しました。

また、高度製菓製パン学科2年生21名は、本年度、製菓衛生師試験に全員合格いたしました。

申請・届出関係

■器デザイン学科に専攻設置

「cafe雑貨専攻」

①cafe雑貨をデザイン・企画・制作する能力を身に付けます。

②バリスタとしての知識や技術を身につけたり、料理やデザートなどのフード関連の基礎を身に付けます。

商品装飾展示技能士受験資格

格やレストランサービス技能検定3級受験資格等資格取得に力を入れ、食と器の両面からカフェをプロデュースする能力を養うことを目的とします。



「陶磁・ガラス専攻」

①魯山人実習などを通じて、食と器を双方向から審美できる能力を身に付けます。

②理論と創作の双方から器について学び、デザイン・造形力を身に付けます。

③専門技術や知識を身に付け、研究科・大学編入学も目指すことができます。

食の視点から器について幅広く学び、創作のみならず、デザイン・造形力と審美眼を養うことを目的とします。



就職活動支援

■インターンシップの増加

インターンシップ規程を作成し、体制を確立させ、指導に生かして行きます。学生に対しても講習会を開催し、就職に対する意識の向上を図り、就職活動の早期取り組みに結びつけ、就職難に対処していきました。

■ガイダンスの開催

外部のガイダンスに積極的に参加するとともに、学内のガイダンスの回数を増やし、1年次には心構え・言葉遣い・社会生活の基本等、2年次には受験指導・模擬面接等きめ細かく指導しました。

学生募集

■オープンスクールの充実

年間20回の体験実習の中に、専任教員による実習だけでなく、特別講師による体験実習を組み込み、特徴を出し、オープンスクール参加者の増加に努めました。

■無料スクールバスの増便

昨年度茶屋町便を増便し、非常に多くの学生が利用し、学生サービスにおいても充実し、さらに、児島・坂出・玉野方面の志願者の増加に繋がりましたので、今年度は井原便の増便を実施しました。

これにより、在校生の利便性もよくなりましたが、さらに、井原・矢掛・福山方面の志願者の増加に向け広報しています。

■高校での体験授業の増加

平成20年度より、高校での体験授業に力を入れ、徐々に回数を増やしていきましたが、今年度は昨年以上に回数を増やし、学校のPRを図り志願者の増加へ努めました。

■高校での説明会の増加

高校訪問を通して、高校での単独の説明会の回数を増やし、志願者の増加へ努めました。

■外国人留学生の増加

海外支局長との連携や、外国語パンフレット等の作成をし、特に調理学科の麺・寿司について、PRに努めました。

■ターゲットの拡大

器デザイン学科において、高校生以外の社会人対象や、県内にとどまらず県外にも広く広報を実施しました。

主な行事

4月 5日	入学式
7月 31日	前期試験 (～ 8月 6日)
8月 7日	夏季休業 (～ 9月 6日)
9月 7日	後期開始
10月 24日	文化祭 (～10月25日)
12月 24日	冬季休業 (～ 1月 7日)
1月 21日	後期試験 (～ 1月27日)
3月 21日	学年末休業 (～ 3月31日)
3月 23日	卒業式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成21年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
衛生 専門課程	高度調理フードコーディネート学科	40	12	80	28
	高度製菓製パン学科	40	30	80	52
	計	80	42	160	80
文化・教養 専門課程	器デザイン学科	20	2	40	6
	計	20	2	40	6
合 計		100	44	200	86
高度陶芸ガラス創作研究科		10	1	20	1

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成21年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者
倉敷 食と器 専門学校	40	36	33	92%	0

(単位:人)

主な就職先	(学)川崎学園、岡山全日空ホテル、(有)シャロン、(株)菊の井、(社)四ツ葉会 元気の家 ひまわりの会 他
-------	--

■教職員数

(平成21年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計
1	1	7	9

事務職員
5

(単位:人)

財務関係

■消費収支

(単位:千円)

科目	年度 21年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	93,288	96,498
補助金収入	260	226
その他収入	1,462	2,220
帰属収入合計	95,010	98,944
基本金組入額合計	△ 347	△ 12
消費収入の部合計	94,663	98,932
人件費	144,512	134,211
教育研究経費	63,951	60,033
管理経費	31,611	41,183
その他支出	1	69
消費支出の部合計	240,075	235,496

■施設設備整備状況(抜粋)

(単位:千円)

事業名	金額
屋外石釜実習場の網戸取付	1,100
スチームオーブンの購入	1,300
パン発酵器の購入	800